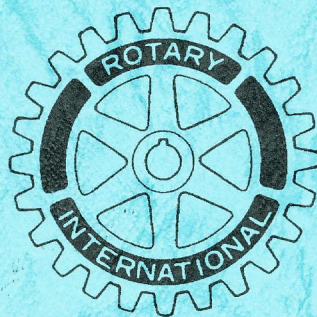


クラブ活動計画書

平成 18 年 7 月

2006～2007年度



RI 第2780地区

大和中ロータリークラブ

会 長 古 郡 清 幹 事 横 澤 創

2006～2007年度

クラブ活動計画書

平成18年 7 月

2006～2007年度 国際ロータリーテーマ



『率先しよう』

LEAD THE WAY

RI会長 ウィリアム B ボイド

第2780地区 西田 隆 ガバナー 方針

- 1) クラブ奉仕を重点項目にする。
- 2) 全クラブが純増1名を目指す。
- 3) 米山・ロータリー財団の寄付をお願いしたい。

大和中ロータリークラブ 古郡 清 会長ターゲット

入りにて学び 出でて奉仕しよう

大和中ロータリークラブ

会 長 古郡 清

幹 事 横澤 創

事務局 大和市中心2丁目5番2号
大和グランドホテル702号室

例会場 大和グランドホテル7F

T E L 046-262-1717

T E L 046-262-1112

F A X 046-262-1818

F A X 046-261-9888

E-mail naka-rc@sweet.ocn.ne.jp

クラブ活動計画書

目 次

本年度の運営方針	3
会 務 報 告	4～10
大 和 市 略 図	10
会 計	11～13
委員会活動計画	14～35
クラブ奉仕委員会	14
(イ) 出 席 委 員 会	14
(ロ) クラブ会報委員会	15
(ハ) 親 睦 活 動 委 員 会	15
(ニ) 雑 誌 委 員 会	16
(ホ) プログラム委員会	16
年間プログラム予定表	18～25
(ヘ) 広 報 委 員 会	26
(ト) スマイルボックス委員会	26
組織部門	27
(イ) 会 員 選 考 委 員 会	27
(ロ) 会 員 増 強 委 員 会	28
(ハ) 職 業 分 類 委 員 会	28
職業分類一覧表	29～31
(ニ) ロータリー情報委員会	32
会場監督(S A A)	32
職業奉仕委員会	33
社会奉仕委員会	33
(イ) 環境保全委員会	34
国際奉仕委員会	34
(イ) ロータリー財団委員会	35
(ロ) 米 山 奨 学 委 員 会	35
(ハ) 姉妹クラブ友好委員会	36
新世代奉仕委員会	36
(別表)	
(1) 役員・理事・委員会一覧表	37
(2) 大和中ロータリークラブ会員名簿	38～40
(3) 歴代会務分担表	41～43
(4) 退会者名簿	45～48
(5) 大和中ロータリークラブ電話連絡網	49
(6) 大和中ロータリークラブ クラブ運営規定集(定款・細則・内規)	53～70

≡≡≡ 本年度の運営方針 ≡≡≡

会 長 古 郡 清

入りて学び出でて奉仕しよう

ポールハリスが友人とロータリークラブを始めた時代のシカゴの街は、経済発展の陰で商業道德の乱れが目に見え余る状態でありました。

それから100年経った現在、耐震偽装や商品の製造月日の偽り、あるいは原料、材料や製品の生産地を偽りと、自分の利益だけを追求している状況は100年前と同じではないでしょうか。

資本主義経済の中で儲ける為には何をやってもよいと考える職業倫理の乱れは嘆かわしいばかりです。

このような状況の時こそ、私達ロータリアンはポールハリスがロータリークラブを始めた時の原点に戻り、ロータリーの綱領にのっとり、四つのテストを実践いたします。

本年度私は『入りて学び出でて奉仕しよう』をテーマに掲げました。

私達ロータリアンは、クラブの例会はもとより、クラブの行事、RIや地区開催の色々な会合に出席してロータリーのことをもっとよく知り、職業奉仕の実践を通じて奉仕の理想を率先して推進しようではありませんか

幹 事 横 澤 創

会長の運営方針『入りて学び出でて奉仕しよう』に沿って、各委員会と連携を密にし、クラブ運営が円滑に進行するように努力します。クラブの記録の整理保管、諸会合の通知、各種報告等は定められた手続きに則り遂行いたします。そして楽しいクラブ、魅力あるクラブの雰囲気を持続できるよう努めます。

会 務 報 告

幹 事 横 澤 創

1. クラブの沿革

創 立 総 会
R. I. 承 認
チャーターナイト
(認証状伝達式)

スポンサークラブ
特 別 代 表
ガ バ ナ ー
チャーターメンバー
(創 立 会 員)

所 在 地 域
事 務 所

例 会 場

例 会 日

昭和53年 5 月 9 日 (1978年) 於大和市商工会館三階
昭和53年 6 月23日 (1978年)
昭和54年 4 月22日 (1979年) 於厚木基地

大和ロータリークラブ
星 幸 男 氏
細 谷 実 氏
23名

大和市 (別紙)
大和市中央 2 丁目 5 番 2 号 大和グランドホテル702号室
電話 046(262)1717 FAX 046(262)1818
・ 昭和53年 5 月 9 日～昭和56年 6 月30日
大和市商工会館 3 階会議室
・ 昭和56年 7 月 1 日～昭和63年 4 月30日
(旧) 八千代信用金庫大和支店 4 階会議室
・ 昭和63年 5 月12日～
大和グランドホテル 7 階 電話 046(262)1112
毎週木曜日

2. 会員の種類

正 会 員 42名
名 誉 会 員 0 名

3. 区域内人口、会員数、出席率、ビジター及びゲスト数、入会金、年会費一覧表

年 度	人 口(人)	会員数(年度始め)	平均出席率	ビジター及びゲスト数	入 会 金	年 会 費
昭和53年	159,718	23名	100%	(含仮クラブ) 80名	100,000円	168,000円
53～54年	159,963	22名	99.76%	484名	100,000円	168,000円
54～55年	164,748	28名	98.12%	496名	100,000円	168,000円
55～56年	167,318	30名	98.59%	532名	100,000円	168,000円
56～57年	169,530	40名	99.96%	519名	100,000円	168,000円
57～58年	171,440	42名	99.1 %	519名	100,000円	168,000円
58～59年	173,338	49名	99.27%	548名	100,000円	168,000円
59～60年	174,497	45名	99.74%	656名	100,000円	168,000円
60～61年	176,953	55名	99.23%	634名	100,000円	168,000円
61～62年	179,941	50名	99.48%	585名	100,000円	168,000円
62～63年	183,303	51名	100 %	675名	100,000円	168,000円
63～平成1年	187,564	59名	100 %	651名	100,000円	200,000円
平成1～2年	191,148	60名	99.92%	641名	100,000円	200,000円
2～3年	194,696	63名	99.97%	612名	100,000円	230,000円
3～4年	197,570	60名	99.83%	619名	100,000円	230,000円
4～5年	200,960	60名	99.61%	675名	150,000円	230,000円
5～6年	202,169	60名	99.35%	570名	150,000円	250,000円
6～7年	203,451	59名	99.48%	534名	150,000円	250,000円
7～8年	205,452	58名	99.40%	571名	150,000円	250,000円
8～9年	206,165	60名	97.46%	455名	150,000円	250,000円
9～10年	207,576	61名	96.42%	401名	150,000円	250,000円
10～11年	208,640	56名	94.04%	445名	150,000円	250,000円
11～12年	210,734	59名	94.22%	452名	150,000円	250,000円
12～13年	212,921	54名	96.69%	411名	150,000円	250,000円
13～14年	214,573	53名	97.60%	343名	150,000円	250,000円
14～15年	216,463	51名	98.00%	346名	150,000円	250,000円
15～16年	218,352	49名	90.58%	202名	100,000円	250,000円
16～17年	220,200	43名	96.22%	148名	100,000円	250,000円
17～18年	220,950	42名		71名	100,000円	250,000円
18～19年	222,152	42名			100,000円	250,000円

4. 年度別クラブ会員入退会者数一覧表

年 度	会 長 名	入会者数	退会者数	増減数	年度末会員数
昭和53年 (1978)	矢 野 久 元	0	1	- 1	22
53～54年 (1978～1979)	矢 野 久 元 蜂 屋 良 平	13	7	+ 6	28
54～55年 (1979～1980)	芦 田 敬 治	3	1	+ 2	30
55～56年 (1980～1981)	亀 谷 志 郎	12	2	+ 10	40
56～57年 (1981～1982)	伊 藤 正 男	5	3	+ 2	42
57～58年 (1982～1983)	寺 田 五 六	12	5	+ 7	49
58～59年 (1983～1984)	長谷川 清 一	3	7	- 4	45
59～60年 (1984～1985)	猪 熊 唯 夫	13	3	+ 10	55
60～61年 (1985～1986)	上 田 利 久	2	7	- 5	50
61～62年 (1986～1987)	藤 田 重 成	5	4	+ 1	51
62～63年 (1987～1988)	富 澤 重 徳	11	3	+ 8	59
63～平成 1 年 (1988～1989)	石 渡 英二郎	4	3	+ 1	60
平成 1 ～ 2 年 (1989～1990)	北 砂 富 三	7	4	+ 3	63
2 ～ 3 年 (1990～1991)	有 澤 昭 二	2	5	- 3	60
3 ～ 4 年 (1991～1992)	松 本 忠 明	3	3	0	60
4 ～ 5 年 (1992～1993)	辻 國 明	4	4	0	60
5 ～ 6 年 (1993～1994)	伊 藤 英 夫	2	3	- 1	59
6 ～ 7 年 (1994～1995)	古 木 勝 治	3	4	- 1	58
7 ～ 8 年 (1995～1996)	高 橋 政 勝	4	2	+ 2	60
8 ～ 9 年 (1996～1997)	土 屋 翁 三	3	2	+ 1	61
9 ～10年 (1997～1998)	後 藤 定 毅	2	7	- 5	56
10～11年 (1998～1999)	橋 本 健 彦	3	0	+ 3	59
11～12年 (1999～2000)	中 西 功	2	7	- 5	54
12～13年 (2000～2001)	近 藤 富士男	2	3	- 1	53
13～14年 (2001～2002)	鈴 木 久次郎	5	7	- 2	51
14～15年 (2002～2003)	前 原 一 男	3	5	- 2	49
15～16年 (2003～2004)	長 野 俊 八	1	7	- 6	43
16～17年 (2004～2005)	神 作 彰	1	2	- 1	42
17～18年 (2005～2006)	松 崎 正 実	5	4	+ 1	43

5. 会員状況

a) 会員名簿一覧表 (別表(2))

b) 会員年齢構成 (18年 7 月 1 日現在)

40才台	1 名	} 計 43名	最 高 年 少 平 均	85才 46才 64.32才
50才台	12名			
60才台	21名			
70才台	7 名			
80才台	2 名			

c) クラブ在籍年数（18年7月1日現在）

1年未満	5名	9年以上	0名	18年以上	2名
1年以上	1名	10年以上	1名	19年以上	3名
2年以上	1名	11年以上	0名	20年以上	0名
3年以上	1名	12年以上	1名	21年以上	2名
4年以上	4名	13年以上	1名	22年以上	0名
5年以上	1名	14年以上	0名	23年以上	3名
6年以上	1名	15年以上	1名	24年以上	2名
7年以上	1名	16年以上	2名	25年以上	9名
8年以上	0名	17年以上	1名	計	43名

d) 100%出席会員数（18年7月1日現在）

27年間	0名		5年間	1名	橋本（日）
25年間	3名	後藤、藤田、高橋（政）	4年間	1名	塙
24年間	2名	松崎、中西	3年間	1名	青柳
23年間	3名	前原、長野、神作			
22年間	0名				
21年間	1名	古郡			
19年間	2名	藤塚、梅田			
18年間	2名	高橋（清）、飯田			
16年間	2名	石川、椋			
15年間	1名	横澤			
12年間	1名	山崎			
10年間	1名	蒔田			
7年間	1名	舘盛			

6. 役員、理事、委員会構成メンバー（別表(1)）

7. 理事会・例会・委員会

毎月第二例会後に定例理事会を開催する他、必要に応じて随時開催する。

例会は毎週木曜日午後12時30分より開催するが、時により変更する。

定款第5条第1節（C）により年4回例会を取り止める。

尚、国の定めた祝祭日及び正月三ヶ日は休会とする。

各委員会は、活動打ち合わせのため適時委員会を開催する。

8. クラブ協議会（クラブアッセンブリー）

- | | | |
|---------|----------------|-------------|
| ① 新年度 | ② ガバナー公式訪問2週間前 | ③ ガバナー公式訪問時 |
| ④ 地区大会後 | ⑤ 12月中 | ⑥ 年度末 |

9. ロータリー財団

○ベネファクター

1	芦田敬治君	2	上田利久君	3	郡司守君	4	長谷川清一君
5	中西功君	6	後藤定毅君	7	辻國明君	8	高橋政勝君
9	神作彰君	10	佐藤信夫君				

○マルチプルポールハリスフェロー

1	②亀谷志郎君	2	③藤田重成君	3	⑩長谷川清一君	4	松本三郎君
5	⑥芦田敬治君	6	②有澤昭二君	7	二見長幸君	8	②古木勝治君
9	③高橋清君	10	児玉清君	11	④上田利久君	12	②郡司守君
13	伊藤英夫君	14	北砂富三君	15	③松本忠明君	16	②松崎正実君
17	②長野俊八君	18	中西功君	19	鈴木久次郎君	20	⑥高橋政勝君
21	土屋翁三君	22	辻國明君	23	②寺田五六君	24	富澤重徳君
25	②番桂柳君	26	橋本健彦君	27	石田忠良君	28	②近藤富士男君
29	長谷川清君	30	梅田秀雄君	31	②前原一男君	32	②青柳文四郎君
33	②後藤定毅君	34	藤塚勝明君	35	佐藤信夫君	36	②館盛道明君
37	神作彰君	38	石川健次君	39	蒔田誠三郎君	40	山崎賢二君

○ポールハリスフェロー

1	矢野久元君	2	伊藤正男君	3	布施光雄君	4	細野順造君
5	竹之内弘美君	6	保田達君	7	石渡みよ子夫人	8	猪熊唯夫君
9	松本千枝夫人	10	佐藤正勝君	11	茅根勉君	12	清水洋三君
13	木村誠二君	14	加藤眞義君	15	古郡清君	16	本田博司君
17	上村幹雄君	18	石渡英二郎君	19	後藤歩さん	20	柿本伊佐男君
21	古田土勝美君	22	小林勇君	23	竹原繁男君	24	依田儀一君
25	牧野弘君	26	目黒雄介君	27	小野孝男君	28	村松令隆君
29	横澤創君	30	蒲生文衛君	31	飯田豊太君	32	鈴木博士君
33	岸幸博君						

○準フェロー

1	三浦泰之君	2	池田武和君	3	小島健一君	4	前原一男君
5	古川巖君	6	神作彰君	7	竹本正俊君	8	千田徹君
9	原田穆君	10	古田土勝美君	11	岩田一夫君	12	梅田秀雄君
13	上村幹雄君	14	飯田豊太君	15	椋茂廣君	16	石川健次君
17	竹原繁男君	18	寺田伍六君	19	横澤創君	20	有澤昭二君
21	中島繁男君	22	石渡英二郎君	23	星輝明君	24	藤田重成君
25	北砂富三君	26	依田儀一君	27	岸幸博君	28	山下精一君
29	長野俊八君	30	山口敏彦君	31	迫田洋一郎君	32	薩田信次郎君
33	中稲隆次君	34	蒲生文衛君	35	中村彰君	36	佐々木万次郎君
37	石田忠良君	38	加藤眞義君	39	菊地康公君	40	木村誠二君
41	児玉清君	42	松崎正実君	43	高橋清君	44	土屋翁三君
45	後藤定毅君	46	橋本健彦君	47	佐藤伴道君	48	村松令隆君
49	阿部豪一君	50	近藤富士男君	51	藤塚勝明君	52	古郡清君
53	本田博司君	54	松本忠明君	55	鈴木久次郎君	56	高橋政勝君
57	上田利久君	58	館盛道明君	59	郡司守君	60	長谷川清君
61	伊藤英夫君	62	鈴木博士君	63	山崎賢二君	64	番桂柳君
65	小倉弘君	66	橋本日吉君	67	塙満子君	68	佐藤信夫君
69	高橋潔君	70	間山進也君	71	水落悟君	72	小柳智裕君
73	工藤俊治君	74	鈴木洋子君				

10. 米山記念奨学会

○米山功労法人

1	聖和電設(株) (古田土勝美君)	2	車体工業(株) (清水洋三君)	3	株日本コンピューターユーセイジ (辻 國明君)
---	---------------------	---	--------------------	---	----------------------------

○米山功労者 メジャードナー

1	②⑦長谷川 清一 君
---	------------

○米山功労者 マルチプル

1	⑥郡 司 守 君	2	⑥芦 田 敬 治 君	3	⑤藤 田 重 成 君	4	⑤松 崎 正 実 君
5	④長 野 俊 八 君	6	④長谷川 清 君	7	③有 澤 昭 二 君	8	③寺 田 五 六 君
9	③布 施 光 男 君	10	③橋 本 健 彦 君	11	③大 高 安 男 君	12	③高 橋 政 勝 君
13	③鈴 木 久 次 郎 君	14	③富 澤 重 徳 君	15	③石 渡 英 二 郎 君	16	③伊 藤 英 夫 君
17	③松 本 忠 明 君	18	③上 村 幹 雄 君	19	③迫 田 洋 一 郎 君	20	③土 屋 翁 三 君
21	③藤 塚 勝 明 君	22	③後 藤 定 毅 君	23	③神 作 彰 君	24	②前 原 一 男 君
25	②梅 田 秀 雄 君	26	③高 橋 清 君	27	②中 西 功 君	28	②近 藤 富 士 男 君
29	②古 郡 清 君	30	②館 盛 道 明 君	31	②佐 藤 信 夫 君	32	③上 田 利 久 君

○米山功労者

1	①村 松 令 隆 君	2	①古 木 勝 治 君	3	①松 本 三 郎 君	4	①小 島 健 一 君
5	①薩 田 信 次 郎 君	6	①石 川 健 次 君	7	①本 田 博 司 君	8	①加 藤 真 義 君
9	①石 田 忠 良 君	10	①山 崎 賢 二 君				

11. 青少年育成基金 500,000円（平成15年3月） 故長谷川清一君ご遺族
 200,000円（平成15年5月） 藤田重成君
 100,000円（平成15年6月） 後藤定毅君
 36,000円（平成15年7月） ゴルフ同好会
 100,000円（平成15年10月） 故芦田敬治君ご遺族
 16,000円（平成16年6月） ゴルフ同好会
 20,000円（平成17年3月） 大和中ロータリークラブ有志
 100,000円（平成18年6月） 後藤定毅君

12. 歴代会務分担表（別表(3)）

13. 大和中ロータリークラブ電話連絡網（別表(5)）

14. 大和中ロータリークラブ運営規定集（定款・細則・内規）（別表(6)）

15. 2006～2007年度地区委員

第六グループガバナー補佐 後藤 定毅

雑誌委員 松崎 正実

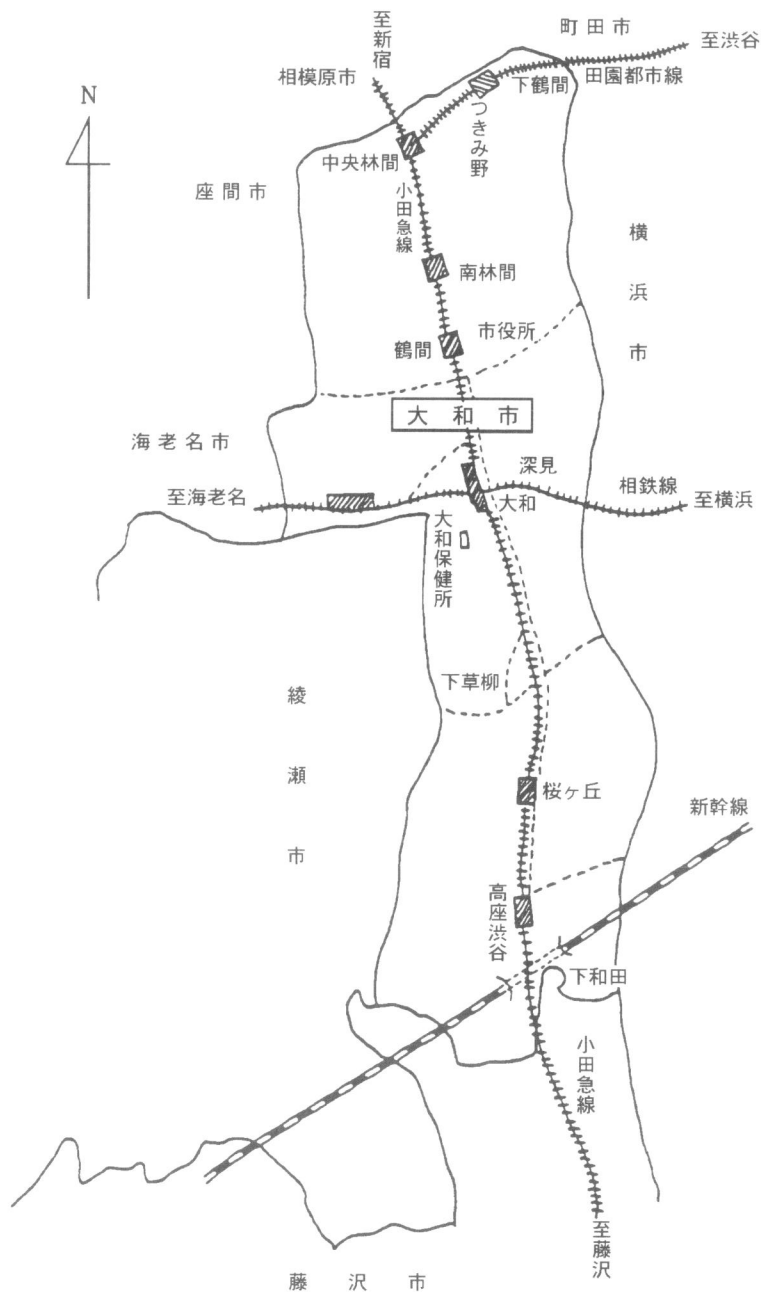
16. 歴代ガバナー・分区代理・会長・幹事名（敬称略）

年 度	ガバナー	分 区 代 理	会 長	幹 事
昭 和 53 年 (1978)	細 谷 実 (藤沢北)	第359地区第6分区 松 村 松太郎 (座間)	矢 野 久 元	長谷川 清 一
53 ～ 54 年 (1978～1979)	蔵 並 定 男 (鎌倉)	第259地区第6分区 富 田 清次郎 (相模原南)	矢 野 久 元 蜂 屋 良 平	長谷川 清 一
54 ～ 55 年 (1979～1980)	伊 藤 茂 (相模原中)	塚 本 勉 (大和)	芦 田 敬 治	北 砂 富 三
55 ～ 56 年 (1980～1981)	加 藤 進 治 (横浜)	斎 藤 隆 寿 (座間)	亀 谷 志 郎	富 澤 重 徳
56 ～ 57 年 (1981～1982)	渡 辺 嘉造伊 (川崎南)	鹿 島 直 磨 (相模原中)	伊 藤 正 男	辻 國 明
57 ～ 58 年 (1982～1983)	加 藤 宗兵衛 (伊勢原)	小 沢 睦 (大和)	寺 田 五 六	郡 司 守 明 辻 國 明
58 ～ 59 年 (1983～1984)	加 島 淳 (横浜磯子)	第259地区第11分区 大 岩 真 (厚木)	長谷川 清 一	古 木 勝 治
59 ～ 60 年 (1984～1985)	津 田 進 (川崎北)	亀 谷 志 郎 (大和中)	猪 熊 唯 夫	伊 藤 英 夫
60 ～ 61 年 (1985～1986)	上 野 良 一 (横浜中)	真 崎 勇 (座間)	上 田 利 久	近 藤 富士男
61 ～ 62 年 (1986～1987)	小 林 亮 (相模原)	会 田 国 喜 (厚木中)	藤 田 重 成	土 屋 翁 三
62 ～ 63 年 (1987～1988)	岡 崎 全 宏 (横浜南)	川 島 熊 平 (大和)	富 澤 重 徳	高 橋 政 勝
63 ～ 平成 1 年 (1988～1989)	谷 口 栄 (横浜東)	大 貫 嘉 一 (厚木)	石 渡 英二郎	松 本 三 郎
平成 1 年～ 2 年 (1989～1990)	濱 田 勝 彌 (伊勢原)	第278地区第5分区 土 橋 亘 (大和田園)	北 砂 富 三	後 藤 定 毅
2 ～ 3 年 (1990～1991)	古 館 誠 (鎌倉大船)	第278地区第6分区 大 矢 晴 行 (大和)	有 澤 昭 二	中 西 功
3 ～ 4 年 (1991～1992)	山 道 昭 彦 (藤沢)	第2780地区第6分区 黄金井 一 太 (厚木)	松 本 忠 明	長 野 俊 八
4 ～ 5 年 (1992～1993)	生 沼 富 治 (小田原北)	手 塚 正 夫 (座間中央)	辻 國 明	前 原 一 男
5 ～ 6 年 (1993～1994)	山 本 淳 正 (逗子)	芦 田 敬 治 (大和中)	伊 藤 英 夫	神 作 彰
6 ～ 7 年 (1994～1995)	神 崎 正 陳 (茅ヶ崎湘南)	世 古 晴 次 (海老名)	古 木 勝 治	古田土 勝 美
7 ～ 8 年 (1995～1996)	真 崎 勇 (座間)	三 河 政 夫 (座間中央)	高 橋 政 勝	上 村 幹 雄
8 ～ 9 年 (1996～1997)	河 本 親 秀 (大磯)	石 川 範 義 (厚木中)	土 屋 翁 三	松 崎 正 実
9 ～ 10 年 (1997～1998)	小 山 計 玄 (伊勢原)	山 下 恵 代 (座間)	後 藤 定 毅	古 郡 清
10 ～ 11 年 (1998～1999)	後 藤 忠 雄 (横須賀南)	道 岸 唯 一 (大和)	橋 本 健 彦	藤 塚 勝 明
11 ～ 12 年 (1999～2000)	中 山 達二郎 (綾瀬)	加 藤 一 郎 (厚木)	中 西 功	蒲 生 文 衛
12 ～ 13 年 (2000～2001)	小 沢 一 彦 (横須賀)	笠 松 歳 雄 (大和田園)	近 藤 富士男	梅 田 秀 雄
13 ～ 14 年 (2001～2002)	竹 内 万 也 (秦野)	辻 國 明 (大和中)	鈴 木 久次郎	高 橋 清
14 ～ 15 年 (2002～2003)	鹿 島 直 磨 (相模原中)	第2780地区 山 本 淳 一 (厚木)	前 原 一 男	石 川 健 次

年 度	ガ バ ナ ー	ガ バ ナ ー 補 佐	会 長	幹 事
15 ～ 16 年 (2003～2004)	中 西 功 (鎌倉西)	第2780地区第6グループ 奥 唄 宏 一 (大和)	長 野 俊 八	蒔 田 誠三郎
16 ～ 17 年 (2004～2005)	松 宮 剛 (茅ヶ崎湘南)	山 際 正 道 (座間中央)	神 作 彰	館 盛 道 明
17 ～ 18 年 (2005～2006)	仲 田 昌 弘 (鎌倉中央)	塩 塚 幸 彦 (厚木中)	松 崎 正 実	鈴 木 博 士 明
18 ～ 19 年 (2006～2007)	西 田 隆 (座間中央)	後 藤 定 毅 (大和中)	古 郡 清	横 澤 創

17. 姉妹クラブ 大韓民国東慶州 R C (国際ロータリー第3630地区) 昭和58年5月15日締結

大 和 市 略 図



会 計

佐藤 信夫

当クラブの会計予算は、①一般会計予算、②奉仕会計予算、③周年記念事業積立金予算がありますが、一般会計においては会員数の減少により健全なる予算組みが難しくなりつつあります。今後の課題としては、①会員数の増強と支出予算の緊縮化が大事、②又、奉仕会計予算としてはスマイルのより一層の充実が挙げられます。

1. 本年度の諸会費の内訳及び納入時期は、下記の通りと致します。

(1)	入	会	金	100,000円	入会時に納入
(2)	年	会	費	250,000円	年 2 回に分割
(3)	周 年 記 念 事 業 積 立 金			12,000円	年 2 回に分割
(4)	スマイルボックス			12,000円	年 2 回に分割
(5)	臨	時	会	費	随 時

上記のうち (2). (3). (4). の納入日は、それぞれ7月1日および1月1日です。
会費等は現金・小切手の持参もしくは銀行振込で納入してください。

2. 会費等の振込先は下記の銀行口座とします。

銀 行 名 八千代銀行 大和支店

口座番号 普通預金 0711972

口座名義 大和中ロータリークラブ 会計 佐藤 信夫

3. 当クラブの2006～2007年度会計予算は、別紙のとおりとします。

4. 理事会の要求があった場合および年度末に理事会に対しクラブの資金のすべてに関する会計報告をいたします。

5. その職務に通常付随する任務を行います。

2006～2007年度 一般会計予算

(平成18年 7 月 1 日～平成19年 6 月30日)

(単位 円)

科	目	予 算 額	備 考
収入の部	前 年 度 繰 越 金	882,194	
	年 会 費	11,125,000	前期@125,000×43人 後期@125,000×46人
	入 会 金	300,000	@100,000×3人
	ビ ジ タ ー 会 費	157,500	@2,500×1.5人×42週
	雑 収 入	100	預金利息等
	合 計	12,464,764	
支出の部	クラブ運営費	例 会 費	4,500,000 例会食事代
		理 事 会 費	40,000 定例理事会賄
		ク ラ ブ 協 議 会 費	50,000 クラブ協議会補助
		事 務 局 費	996,000 (70,000+交通費13,000) ×12ヶ月
		事 務 所 賃 借 料	900,000 @75,000×12ヶ月
		渉 外 費	500,000 対外慶弔費、会長幹事会、大和まつり／阿波踊り賛助金／IMホスト
		慶 弔 費	100,000 クラブ内慶弔費
		贈 答 費	30,000 記念品、お礼等
		通 信 費	180,000 電話、FAX、郵便切手、銀行諸費用等
		図 書 費	150,000 「友」、「ザ・ロータリアン」
		印 刷 費	430,000 クラブ活動計画書、ポケット名簿
		文 具 費・備 品 費	450,000 コピーメンテナンス・プリンタリース料、事務用品、文具、消耗品等
		雑 費	10,000
		小 計	8,336,000
	クラブ奉仕	出 席 委 員 会	80,000 皆出席記念品
		ク ラ ブ 会 報 委 員 会	500,000 印刷費用等
		親 睦 活 動 委 員 会	500,000 家族会補助等
		記 念 品	250,000 会員誕生祝等
		プ ロ グ ラ ム 委 員 会	100,000 ゲストスピーカー謝礼等
		広 報 委 員 会	10,000 資料作成費等
		ロータリー情報委員会	10,000 資料作成費等
		他のクラブ奉仕委員会	10,000
		小 計	1,460,000
	地区費	地 区 資 金	956,750 前期@10,750×43人、後期@10,750×46人
		地区大会分担金	215,000 @5,000×43人
		地区協議会費	144,000 @8,000×18人
		I・M 分 担 金	368,000 @8,000×46人
		米山記念奨学会	133,500 前期@1,500×43人、後期@1,500×46人
		小 計	1,817,250
	R負担金	人 頭 分 担 金	250,000 前期@\$24.50×43人、後期@\$23.5×46人
		小 計	250,000 (ドルに変動あり)
	予 備 費	601,544	
	合 計	12,464,794	

2006～2007年度 奉仕会計予算

(平成18年7月1日～平成19年6月30日)

(単位 円)

	科 目	予 算 額	備 考
収入の部	前 年 度 繰 越 金	2,997,182	
	ス マ イ ル	1,600,000	
	雑 収 入	100	預金利息等
	合 計	4,597,282	
支出の部	職 業 奉 仕	100,000	
	社 会 奉 仕	100,000	
	国 際 奉 仕	1,000,000	財団、米山、姉妹クラブ友好含む
	新 世 代 奉 仕	500,000	
	予 備 費	2,897,282	
	合 計	4,597,282	

周年記念事業積立金会計予算

(平成18年7月1日～平成19年6月30日)

(単位 円)

	科 目	予 算 額	備 考
収入の部	前 年 度 繰 越 金	3,559,134	
	会 員 積 立 金	534,000	前期@6,000×43人 後期@6,000×46人
	雑 収 入	100	預金利息等
	合 計	4,093,234	
支出の部	次 年 度 へ 繰 越	4,093,234	
	合 計	4,093,234	

≡≡≡ クラブ奉仕委員会 ≡≡≡

委員長 舘 盛 道 明

副委員長 梅 田 秀 雄

委 員 各小委員会委員長

四大奉仕部門の内、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕を成功させる為には、クラブ奉仕としてクラブ運営、管理を成功させなければなりません。そのためにクラブ奉仕委員会は会員が例会に出席すること、新会員を推薦すること、親睦を楽しむこと、プログラムに参加すること、委員や理事を務めること、対外活動に参加すること、等々ロータリアンとしてクラブを強力なものにする責務があります。

従ってこれらのことを成功させるため、クラブ奉仕委員会は各委員会で計画されたクラブ計画書が円滑に全員参加で推進できるよう、各小委員会と連絡を取りながら努めます。

≡≡≡ (イ)出席委員会 ≡≡≡

委員長 番 桂 柳

副委員長 山 崎 賢 二

委 員 高 橋 清

○活動方針

各クラブの会員は、週例会へ規則正しく出席しなければならないと定められています。そのためにもホームクラブの例会が楽しく意義深いものであってこそ出席し易いので、この様な例会に全会員が努力して参りましょう。又出席してこそ友情を深め親睦と奉仕の大目的が達せられます。

○実施計画

各委員会とはかり、各種の行事を計画して楽しいロータリー生活とします。又出席によって得るものが多いこととなる様、委員間で協議して参ります。

＝ (ロ) クラブ会報委員会 ＝

委員長 梅 田 秀 雄
副委員長 入 江 公 敏
委 員 蒔 田 誠三郎

○活動方針

クラブ会報は数々の歴史を刻んだ唯一の活動記録です。

会員が共有できる貴重な情報源として正確に編集すると同時に、楽しく魅力ある紙面作りを目指します。

○実施計画

- (1)例会に於ける各報告事項、卓話等については原稿の提出をお願いします。
- (2)各委員会、同好会、及び会員からの投稿を歓迎します。

＝ (ハ) 親睦活動委員会 ＝

委員長 鈴 木 洋 子
副委員長 飯 田 豊 太
委 員 澤 登 次 郎
茂 木 諄 三
梅 野 房 子
原 嶋 賢一郎

○活動方針

今年度の会長のターゲット「入りて学び、出でて奉仕しよう」のもと、例会にいらした会員の方々をアットホームな雰囲気でお迎えし、又ビジターの方には当クラブに来て良かったとの思いを感じていただける雰囲気作りをしていきたいと思ひます。

○実施計画

- (1)家族会及び移動例会・適時親睦会

- ①12月21日(木) クリスマス家族会
- ②3月又は4月頃美術鑑賞移動例会
- ③歓迎会・お祝い・適時親睦会の開催

- (2)会員お祝い

- ①本人誕生日(毎月初め合同)
- ②入会記念日・創業記念日・結婚記念日(お楽しみプレゼント)
- ③御夫人誕生日(女性会員含む)鉢植え

＝ (二) 雑 誌 委 員 会 ＝

委員長 後 藤 定 毅

副委員長 塙 満 子

○活動方針

ロータリークラブの会員であるための義務の一つが、公式雑誌（ロータリーの友）の購読であることは多くの会員の知るところであります。しかし、読まれざるベストセラーとも揶揄されている公式雑誌ですが、ロータリーを知る参考書、情報書としての内容には十分すぎるものがあります。今年度は他の委員会と連携して、会員がこの雑誌をもっと楽しく身近なものに出来るような活動をしていきたいと思いをします。

○実施計画

委員会として例会で記事の内容を紹介説明することだけではなく、会員が毎週順番に3分間情報として公式雑誌の記事の読後感や、また一業種一人制であるロータリーの特徴を出した社会や職業などについての何かの感想を発表していただく機会を作り、会長ターゲットにある「入りて学び、出でて奉仕をしよう」を目指す、お互いの研鑽の場にしたいと思いをします。

＝ (ホ) プログラム委員会 ＝

委員長 村 松 令 隆

副委員長 椋 茂 廣

委 員 前 原 一 男

○活動方針

会長ターゲットの「入りて学び、出でて奉仕しよう」の精神に則り、会員間の相互理解に寄与し、親睦と自己研鑽に資する活動を目指します。また、地域でのロータリーへの認識を高める活動を目指します。

○実施計画

- (1)出席して楽しい例会、会員参画型の例会を目指します。
- (2)月間テーマに即したプログラムを構成します。
- (3)各委員会の協力を得て、充実した委員会活動のプログラムを構成します。
- (4)会員の体験談、提言等を通じて、相互理解に寄与できるプログラムを構成します。
- (5)地域に密着したテーマを取り上げてプログラムを構成します。



MEMO

年間プログラム予定表

月	日	曜日	時間	事 項	内 容	担 当
7月	6	木	12:30	例会（1358回） 挨拶 第1回クラブ協議会	「就任挨拶」 古郡清会長 横澤創幹事 「年度の始めにあたり」	会 長 幹 事
	13	木	12:30	例会（1359回） クラブフォーラム(45分)	「クラブ奉仕について」	クラブ奉仕
	20	木	12:30	例会（1360回）		プログラム
	27	木	12:30	例会（1361回）		プログラム
8月	3	木	12:30	例会（1362回）	「青少年東慶州派遣について」	国際奉仕
	10	木	取止め例会（クラブ定款第5条第1節（C）により）			
	17	木	12:30	例会（1363回）		プログラム
	24	木	12:30	例会（1364回） クラブフォーラム(45分)	「会員増強について」	会員増強
	31	木	12:30	例会（1365回）		プログラム
9月	7	木	12:30	例会（1366回） クラブフォーラム(45分)	「青少年交換留学生を迎えて」	新 世 代
	14	木	16日～17日の地区大会に振り替え・休会			
	16 ～ 17	土 ～ 日	第2780地区大会 箱根 富士屋ホテル			
	21	木	12:30	例会（1367回） 第2回クラブ協議会	「地区大会を終えて」	会 長 幹 事
	28	木		例会（1368回） 第3回クラブ協議会	「ガバナー公式訪問に備えて」 後藤定毅ガバナー補佐を囲んで	会 長 幹 事

特 別 事 項	誕 生 日		結 婚 記 念 日	創 業 記 念 日	入 会 記 念 日
	会 員	夫 人			
7/6(木) クラブ奉仕セミナー 7/11(火) 拡大・増強セミナー 7/13(木) 定例理事役員会	2 飯田 2 原嶋 20 北砂 24 郡司 28 松本	30 北砂 30 澤登		1 小柳 17 高橋(清)	10 後藤 13 棕 16 橋本(健) 23 高橋(清)
会員増強および拡大月間 8/3(木) 定例理事役員会 8/5(土) 社会奉仕セミナー	4 高橋(政) 8 橋本(健) 12 古木 14 澤登 23 蒔田 30 舘盛	9 山崎	22 小柳	13 前原	3 石川 17 中西
新世代のための月間 9/14(木) 定例理事役員会 9/19(火) R財団セミナー 9/22(金) 米山奨学セミナー	28 前原	2 藤塚 26 郡司 28 古郡	1 村松 3 松本 15 松崎 23 北砂	1 後藤 10 入江 20 寺田	7 蒔田 9 長野 13 寺田 27 塙

月	日	曜日	時間	事 項	内 容	担 当
10 月	5	木	12:30	例会（1369回） 卓話	イニシエーションスピーチ	プログラム
	12	木	12:30	例会（1370回） ガバナー公式訪問 第4回クラブ協議会	西田隆ガバナーと共に	会 長 幹 事
	19	木	12:30	例会（1371回） 卓話	「米山奨学について」	米山奨学
	26	木	12:30	例会（1372回） クラブフォーラム(45分)	「職業奉仕について」	職業奉仕
11 月	2	木	12:30	例会（1373回） 卓話	「ロータリー財団について」	R 財 団
	9	木	12:30	例会（1374回）		プログラム
	16	木	12:30	例会（1375回） 卓話	「水資源、飲料水の問題」	環境保全
	23	木	休日につき休会とする			
	30	木	12:30	例会（1376回）		プログラム
12 月	7	木	12:30	例会（1377回） 年次総会		プログラム
	14	木	12:30	例会（1378回） 第5回クラブ協議会	半期を終えて	会 長 幹 事
	21	木	18:30	例会（1379回） 家族会	半期報告 クリスマスパーティ	幹 事 親睦活動
	28	木	取止め例会（クラブ定款第5条第1節（C）により）			

特 別 事 項	誕 生 日		結 婚 記 念 日	創 業 記 念 日	入 会 記 念 日
	会 員	夫 人			
米山月間・職業奉仕月間 10/15(木) 定例理事役員会	4 小柳 11 村松 16 工藤 21 佐藤	24 梅田 27 神作	7 岸 10 寺田 10 蒔田 13 前原 18 入江 20 郡司 24 梅田	1 石田 18 石川	13 入江 16 藤塚 18 古木 30 高橋(政)
ロータリー財団月間 11/ 9(木) 定例理事役員会	9 梅野 16 茂木 18 塙	6 番 23 石田 29 高橋(政)	3 後藤 18 山崎 21 橋本(日) 23 棕	6 北砂 11 鈴木(洋) 13 橋本(日) 20 工藤 27 郡司	5 飯田 10 梅野 10 澤登
12/14(木) 定例理事役員会	5 岸 18 山崎	3 岸 4 舘盛 16 橋本(健) 17 松本 18 前原 24 中西	14 長野	6 佐藤 6 澤登 10 松崎 15 松本 20 原嶋	3 松崎 8 郡司 10 舘盛

月	日	曜日	時間	事 項	内 容	担 当
1 月	4	木	取止め例会（クラブ定款第5条第1節（C）により）			
	11	木	12:30	例会（1380回） 挨拶	古郡清 会長 「年頭所感」	会 長 幹 事
	18	木	12:30	例会（1381回）		プログラム
	25	木	12:30	例会（1382回）		プログラム
2 月	1	木	12:30	例会（1383回） I・Mについて	I・M準備	I・M実行委員会
	4	日	第6グループI・M ホスト：			
	8	木	4日のI・Mに振り替え・休会			
	15	木	18:30	例会（1384回） 第6回クラブ協議会	一泊例会 「I・Mを終えて」	会 長 幹 事
	22	木	12:30	例会（1385回）		プログラム
3 月	1	木	12:30	例会（1386回） クラブフォーラム（45分）	「社会奉仕について」	社会奉仕
	8	木	12:30	例会（1387回）		プログラム
	15	木	12:30	例会（1388回） 卓話	イニシエーションスピーチ	プログラム
	22	木	12:30	例会（1389回） クラブフォーラム（45分）	「30周年記念に向けて」	30周年実行委員会
	29	木	12:30	例会（1390回）		プログラム

特 別 事 項	誕 生 日		結婚記念日	創業記念日	入会記念日
	会 員	夫 人			
ロータリー理解推進月間 1/11(木) 定例理事役員会	4 松崎 19 梅田 21 長野 23 上田	1 石川 4 茂木 12 小柳 23 上田 23 伊藤 24 橋本(日) 29 松崎	7 梅野 15 橋本(健) 17 伊藤 21 藤田 26 古木 29 原嶋	1 中西 1 埴 13 橋本(健) 16 古木 17 伊藤 17 村松	6 山崎 8 鈴木(洋)
世界理解月間 2/ 1(木) 定例理事役員会 2/23(金) ロータリー創立記念日 2/23(金) PETS	2 石川 7 中西 12 高橋(清) 14 入江 15 青柳 25 棕	17 古木 20 佐藤	20 石川	25 上田	2 茂木 28 古郡
識字率向上月間 3/ 8(木) 定例理事役員会	5 横澤 6 神作 18 伊藤 19 古郡 31 番	7 工藤 15 棕 21 高橋(清) 22 青柳	2 茂木 19 中西 21 青柳 23 佐藤 25 工藤 26 飯田 31 神作	1 古郡 4 飯田 8 横澤	3 神作 4 岸 15 橋本(日) 28 小柳 28 工藤

月	日	曜日	時間	事 項	内 容	担 当
4 月	5	木	12:30	例会（1391回） 卓話	「雑誌月間によせて」	雑 誌
	8	日		移動例会（1392回） 家族会	「美術館巡り」	親睦活動
	12	木		8日の家族会に振り替え・休会		
	19	木	12:30	例会（1393回）		プログラム
	26	木	12:30	例会（1394回） 卓話	「地区協議会にむけて」	会 長 幹 事
5 月	3	木		休日につき休会とする		
	10	木	12:30	例会（1395回）	中西 功 会員 「創立記念日にあたり」	プログラム
	13	日		地区協議会 ホスト：大和 R C		
	17	木		13日の地区協議会に振り替え・休会		
	24	木	12:30	例会（1396回）	藤塚勝明会長エレクト 「次年度に向けて」	プログラム
	31	木	12:30	例会（1397回）		プログラム
6 月	7	木	12:30	例会（1398回）		プログラム
	14	木	12:30	例会（1399回） 第7回クラブ協議会	年度終了にあたり	会 長 幹 事
	21	木	12:30	例会（1400回） 挨拶	「この一年間を回顧して」 年次報告	
	28	木		取止め例会（クラブ定款第5条第1節（C）により）		

特 別 事 項	誕 生 日		結 婚 記 念 日	創 業 記 念 日	入 会 記 念 日
	会 員	夫 人			
ロータリー雑誌月間 4/5(木) 定例理事役員会	11 藤塚 20 鈴木(洋)	10 横澤 11 後藤 17 寺田 30 藤田 30 蒔田	2 藤塚 3 上田 10 高橋(政) 18 古郡 29 横澤	1 番 1 茂木 1 藤田 1 梅田 1 蒔田 1 岸 1 山崎 1 高橋(政) 1 青柳 8 館盛 29 梅野	9 梅田 12 村松 18 番 20 原嶋 23 石田
ロータリー親睦活動月間 5/10(木) 定例理事役員会	15 藤田 15 橋本(日)	28 入江 28 原嶋 29 村松	7 石田 14 澤登 18 館盛 21 番 27 高橋(清)	1 棕 17 藤塚	12 前原 25 佐藤
6/14(木) 定例理事役員会 6/17(日)～20(水) 国際大会	3 石田 11 後藤 14 寺田	8 飯田 9 長野		10 神作 21 長野	13 横澤 21 青柳 23 伊藤 23 上田 23 北砂 23 藤田 23 松本

＝（へ）広報委員会＝

委員長 青 柳 文四郎

副委員長 中 西 功

委 員 藤 田 重 成

○活動方針

歴史的団体であるロータリークラブの活動を、広報を通じて地域の方々に積極的に行いロータリークラブへの理解増進に寄与していきます。

○実施計画

地方紙・ミニコミ紙、市の広報等とコミュニケーションを計り、情報を提供し、ロータリーへの理解を求めます。

各委員会の活動を支援します。

＝（ト）スマイルボックス委員会＝

委員長 前 原 一 男

副委員長 塙 満 子

委 員 橋 本 健 彦

○活動方針

- (1)この委員会の成果は会員各位の喜び幸せ度が年間を通じてどの程度で有ったかを表すバロメーターでもあります。

会員皆様にはご自分、ご家族、お仕事、友人の喜び幸せを日々強く意識いただき、毎日をハッピーな気持ちでお過ごし頂き木曜日にはスマイルボックス委員会へ申告します。

この様に一週間を習慣付けますと自然に幸せな人生を過ごすことになります。

今年度皆様にいただきます貴重な財源は次年度クラブ創立30周年事業の原資でもあります。例年以上の成果を目標といたしております。

皆様の力強いご協力をお願いいたします。

- (2)目標達成のため委員会では会員各位の幸せ情報をキャッチすべく働きかけを行います。

組織部門

藤 塚 勝 明

○活動方針

あらゆる団体にとって組織の充実はとても大切な事柄であります。我がクラブでもこの数年間に亘って会員数の減少傾向が続き、組織としての弱体化が危惧されるところです。

そこで、会員の増強に大きな力点を置きながら、組織部門の責務としての的確な情報を学習会などを通じて提供できるよう努めたいと思います。

(イ) 会員選考委員会

委員長 上 田 利 久

副委員長 梅 田 秀 雄

委 員 古 木 勝 治

○活動方針

1920年代アルカポネ率いる悪徳業者との対決の中で悩みながら大きくなったロータリー……

そんな雰囲気の中から「職業奉仕の理念」が芽生えてきたと言われています。

○実施計画

この様なロータリーの伝統に共鳴される方々、お忙し屋さん達のオアシス……

ロータリークラブ…当クラブに「ふさわしい方」、特に、クラブ会員と打ち解けることの出来る方を一つの拠りどころとして、それぞれの委員会と連携の上選考を進めて行きたいと思っています。

＝ (ロ) 会員増強委員会 ＝

委員長 高 橋 清
副委員長 伊 藤 英 夫
委 員 澤 登 次 郎

○活動方針

会員増強はロータリーに欠かせないものです。増強なくしてクラブは成りたちません。会長方針「入りて学び、出でて奉仕しよう」のもと、会員一人ひとりが色々な会合に出席して親睦を計り、奉仕活動をその方針にそって会員の増強に努めると共に、会員の退会防止に全力で取り組んで参ります。

○実施計画

- (1) 会員増強、純増1名を目標にしてひとりでも多くの会員増強に努めます。
- (2) 楽しい例会、楽しいクラブ、楽しい奉仕、魅力あるクラブ、会員同志の親交を深め退会防止に努めます。
- (3) 各委員会の協力を頂き新会員の発掘と会員の退会防止に努めます。

＝ (ハ) 職業分類委員会 ＝

委員長 ① 蒔 田 誠三郎
副委員長 ② 館 盛 道 明
委 員 ③ 横 澤 創

○活動方針

クラブ細則にのっとり、地域社会の職業分類を調査し検討します。

○実施計画

- (1) 8月31日迄に充填・未充填の職業分類を調査し、職業分類一覧表を作成して会員に配布します。
- (2) 会員増強委員会、会員選考委員会と連携し新会員候補者の職業分類を検討して理事会に報告します。

職業分類一覧表

(平成18年7月1日)

職業分類	会員名	事業所名
外科 医	番 桂 柳	大和中央外科
内科 医		
小児科 医	上 田 利 久	ウエダ小児科
産婦人科 医		
眼科 医		
歯科 医		
獣 医	松 崎 正 実	つきみ野松崎動物病院
普通銀行	澤 登 次 郎	(株)八千代銀行 大和支店
郵便事業		
不動産賃貸	高 橋 政 勝	(有)高橋
損害保険	北 砂 富 三	(株)オーシャニック
生命保険	小 柳 智 裕	(有)F Pブレイン
弁 護 士		
司法書士		
社会保険労務士		
税 理 士		
経営コンサルタント		
工業薬品販売	村 松 令 隆	水研化学工業(株)
紳士服販売	前 原 一 男	(有)アローテラー
寝 具 販 売		
履 物 販 売		
家 具 販 売		
家庭用電気器具販売		
書 籍 販 売		
新 聞 販 売		
茶 販 売	梅 田 秀 雄	(株)渡辺園
酒 類 販 売		
洋菓子製造販売	松 本 忠 明	(有)チロル

職 業 分 類	会 員 名	事 業 所 名
コンビニエンスストア	伊 藤 英 夫	(有)イトウ
スーパーマーケット	石 川 健 次	(株)北京飯店
中華料理	工 藤 俊 治	旬庵
日本料理		
ホテル業		
クリーニング業		
観光事業		
自転車販売	長 野 俊 八	サイクルセンターナガノ
自動車販売		
自動車整備		
ガソリンスタンド		
プロパンガス販売		
印刷業	蒔 田 誠三郎	(有)アドタック
機械部品製造	後 藤 定 毅	フジ工業(株)
設備機械輸出		
電子部品製造	橋 本 健 彦	東京テック(株)
ソフト開発販売		
宗教家	舘 盛 道 明	定方寺
画家		
農業	古 木 勝 治	古木農園
幼稚園		
学習塾		
運送業	古 郡 清	(有)緑運輸
物流代行業	神 作 彰	石井運輸(株)
不動産管理	山 崎 賢 二	(有)山崎事務所
不動産取引	飯 田 豊 太	(有)大和地所
貸ビル業		
貸倉庫	高 橋 清	(有)文が岡商事
	郡 司 守	(株)ゲンジ
インテリアコーディネーター		
建築設計	椋 茂 廣	(有)椋一級建築士事務所
鉄骨建築	藤 田 重 成	(有)藤田工務店
土木業	寺 田 五 六	(株)寺田土木

職 業 分 類	会 員 名	事 業 所 名
木 造 建 築	藤 塚 勝 明	(有)藤塚工務店
住 宅 建 築	塙 満 子	カムホーム(株)
総 合 建 設 業	横 澤 創	ニッケン建設(株)
住 宅 設 備	岸 幸 博	岸木工(有)
建 具 製 造 販 売		
冷 暖 房 空 調 設 備		
ガ ス 機 器 エ ン ジ ニ ア	石 田 忠 良	(有)イシダ熱器
水 道 工 事		
電 気 工 事		
建 築 材 料 販 売	中 西 功	(有)中西商店
通 信 ケ ー ブ ル 工 業		
内 装 材 料 販 売	青 柳 文四郎	(株)和光堂
生 コ ン ク リ ー ト 製 造		
通 信 設 計		
プ ラ ス チ ッ ク 加 工 業	佐 藤 信 夫	(有)アベックスポリマー
ダ ン ボ ー ル 製 造		
ネ ッ ト ワ ー ク 機 器 販 売	橋 本 日 吉	(株)東邦通信システムズ
制 御 機 器 設 計 ・ 製 作		
弁 理 士		
洋 楽 器 販 売	鈴 木 洋 子	(株)スズキピアノ商会
自 動 車 学 校	入 江 公 敏	大和自動車学校
レ ー ザ ー 加 工	茂 木 諄 三	モテキ工業(有)
葬 祭 業	梅 野 房 子	(有)林間葬祭
建 築 金 物 販 売	原 嶋 賢一郎	(株)大黒屋

充 填 職 業 43

未充填職業 41

＝（二）ロータリー情報委員会＝

委員長 神 作 彰
副委員長 松 崎 正 実
委 員 古 郡 清

○活動方針

入りて学びの如く、会員特に新会員に対しロータリークラブに於ける会員の特典等に関する情報を与えると同時に、責務についても十分に理解していただき、ロータリーに対し、魅力を感じ得る様なきめ細かな情報を心掛け、ロータリーの歴史及び最近の動向についての情報を提供して参りたいと思います。

○活動計画

- (1) 3ヶ月に1回、例会後にパスト会長を座長とし、ミニ情報集会を開催する予定です。
- (2) 前期1回、後期1回を予定し、炉辺談話を中心に情報集会を開催する予定です。
- (3) 雑誌委員会と共にロータリーの友の熟読玩味していただくよう努めます。

＝ 会場監督（S A A）＝

正 石 川 健 次
副 長 野 俊 八
飯 田 豊 太

○活動方針

例会をはじめすべての会合が、楽しく、秩序正しく運営されるよう、つねに心を配り、気品と風紀を守り、会合がその使命を発揮できるように設営、監督します。

○実施計画

- (1) 例会がスムーズに進行するよう、会長・幹事・各委員会と連携を図り務めます。
- (2) 来訪者、来賓の方々にとっても心地よい会合となるよう、各委員会と協力して務めます。
- (3) 卓話などの趣旨に合わせ、会場レイアウトをフレキシブルに設営します。
- (4) 会員相互の親睦を図る目的で定期的に席替えをします。

職業奉仕委員会

委員長 岸 幸 博
副委員長 松 本 忠 明
委 員 藤 田 重 成

○活動方針

「ロータリーのロータリーたる所以は職業奉仕の実践にあり」という言葉があるように、職業をとりまく全ての人に心をこめて行動するということです。それにはロータリーの職業倫理を勉強していき、「同業組合」「商店会」、「商工会議所」の中でリーダーシップをとり改善を図っていかねばなりません。

○実施計画

- (1)四つのテスト、ロータリーの職業倫理の理解を深めます。
- (2)企業見学を実施して知識を高めます。

社会奉仕委員会

委員長 小 柳 智 裕
副委員長 古 木 勝 治
委 員 石 田 忠 良

○活動方針

社会奉仕とは、ロータリアンが個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理想を適用する修練（自分の心を磨く）をすることです。今年度、地域社会に対して奉仕の実践を行う事、そして『薬物乱用等防止活動』をテーマに活動致します。

○実施計画

小学校や中学校へ薬物乱用防止についての専門の講師を招いて講演を頂きます。
実施内容については協議し決定していきます。

＝（イ）環境保全委員会＝

委員長	石	田	忠	良
副委員長	村	松	令	隆
委員	中	西		功

○活動方針

地域の環境保全活動に対して積極的に支援を行ないます。

○実施計画

環境月間にプログラム委員会との連携のうえ、地域の環境のNPOによる卓話を実施いたします。

＝ 国際奉仕委員会 ＝

委員長	高	橋	政	勝
副委員長	寺	田	五	六
委員	松	崎	正	実
	佐	藤	信	夫
	神	作		彰

○活動方針

国際情報、国際理解が叫ばれている現在、我がクラブも国際奉仕活動に力を入れた事業を推進していきたいと思います。国際間の理解と親善を深めるために積極的な奉仕活動を実践して行きます。

○実施計画

(1) 青少年海外派遣事業

姉妹クラブの韓国東慶州R・Cの協力を得て、中学生のスポーツ交流を実施いたします。

(2) 今までに青少年海外派遣をした方々の体験談発表会を開催いたします。

(3) 小委員会のロータリー財団、米山奨学、姉妹クラブ友好各委員会に協力支援します。

—— (イ)ロータリー財団委員会 ——

委員長 松 崎 正 実
副委員長 北 砂 富 三
委 員 長 野 俊 八

○活動方針

ロータリー財団の組織と使命を知らしめるための啓蒙活動をします。

そのためにロータリー財団関係者に卓話をお願いして財団への寄付の必要性を理解して頂くようにします。

寄付をお願いし、結果的に地区目標額である一人180\$に近づけられるよう努力します。

○実施計画

ロータリー財団の活動に理解を頂き、全会員に「財団の友」会員になって頂きますようお願いします。

全会員に100\$以上の寄付をお願いし、「100%財団の友クラブ」と「EREYクラブ」の認証バナーの獲得を目指します。(EREY:Every Rotarian Every Year)

—— (ロ)米山奨学委員会 ——

委員長 佐 藤 信 夫
副委員長 工 藤 俊 治
委 員 青 柳 文四郎

○活動方針

(財)ロータリー米山記念奨学会は1967年に財団法人として設立の許可を受け、これまでに世界104の国・地域出身の12,700人以上の外国人留学生を支援し、将来母国に帰国して、世界平和と繁栄に貢献する優秀な人材を育成する制度としてその存在意義があります。この制度を最大限もり上げる為、会員一人一人が米山奨学会の哲学・思想を理解納得できる様、啓蒙活動を行いたいと思います。

○実施計画

(1)米山奨学寄附金の目標額の達成へ 一人20,000円

(2)当ロータリアンが全員、寄付に参加。

＝（ハ）姉妹クラブ友好委員会＝

委員長 神 作 彰
副委員長 石 田 忠 良
委 員 橋 本 健 彦

○活動方針

国際奉仕委員会の方針の基に、姉妹クラブである東慶州ロータリークラブとの友好に努めたいと思いますので、全会員のご協力をお願い致します。

○実施計画

- (1)東慶州ロータリークラブが行う離就任式の表敬訪問を始め、年に2回位の相互訪問を行いたいと思います。
- (2)今年度は青少年海外派遣事業もありますので、今まで以上に交流を活発に行いたいと思います。

＝ 新世代奉仕委員会 ＝

委員長 橋 本 日 吉
副委員長 郡 司 守
委 員 伊 藤 英 夫

○活動方針

地域と学校と連携して次世代へ向けての国際的視野を持ち備え、且つ健全に成長出来る様に全会員が力を合わせ、率先して青少年の奉仕活動を推進してまいります。又、今年度は国際奉仕委員会とのコラボレーション事業、「青少年海外派遣事業」を成功させたいと思います。

○実施計画

- (1)青少年交換学生受け入れ 台湾 季 宛庭（女性）
- (2)青少年海外派遣事業

大和市内の中学生と韓国慶州市内の中学生とスポーツ交流及び、ホームステイ、慶州市内歴史遺跡見学等を行います。

2006～2007年度 役員・理事・委員会一覧表

役 員				理 事			
会 長	古 郡	清		岸 幸 博	(職 業 奉 仕 担 当)		
会長エレクト (組織部門担当)	藤 塚	勝 明		小 柳 智 裕	(社 会 奉 仕 担 当)		
副 会 長 (クラブ奉仕担当)	館 盛	道 明		高 橋 政 勝	(国 際 奉 仕 担 当)		
幹 事	横 澤	創		橋 本 日 吉	(新 世 代 奉 仕 担 当)		
会 計	佐 藤	信 夫		山 崎 賢 二	(副 幹 事)		
会場監督(SAA)	石 川	健 次					
	*会計監査		上田 利久		松本 忠明		

委 員 会 名	委 員 長	副 委 員 長	委 員
ク ラ ブ 奉 仕	館盛 道明	梅田 秀雄	番 桂柳 鈴木 洋子 後藤 定毅 村松 令隆 青柳文四郎 前原 一男 高橋 清 蒔田誠三郎 梅野 房子 澤登 次郎 茂木 諄三 原嶋賢一郎
出 席 ク ラ ブ 会 報 親 睦 活 動	番 桂柳 梅田 秀雄 鈴木 洋子	山崎 賢二 入江 公敏 飯田 豊太	
雑 誌 プ ロ グ ラ ム 広 報 スマイルボックス	後藤 定毅 村松 令隆 青柳文四郎 前原 一男	塙 満子 椋 茂廣 中西 功 塙 満子	前原 一男 藤田 重成 橋本 健彦
組 織 部 門 会 員 選 考 会 員 増 強 職 業 分 類 ロータリー情報	藤塚 勝明 上田 利久 高橋 清 ①蒔田誠三郎 ①神作 彰	梅田 秀雄 伊藤 英夫 ②館盛 道明 ②松崎 正実	古木 勝治 澤登 次郎 ③横澤 創 ③古郡 清
会 場 監 督(SAA)	石川 健次	長野 俊八	飯田 豊太
職 業 奉 仕	岸 幸博	松本 忠明	藤田 重成
社 会 奉 仕	小柳 智裕	古木 勝治	石田 忠良
環 境 保 全	石田 忠良	村松 令隆	中西 功
国 際 奉 仕	高橋 政勝	寺田 五六	松崎 正実 佐藤 信夫 神作 彰
ロータリー財団 米 山 奨 学 姉妹クラブ友好	松崎 正実 佐藤 信夫 神作 彰	北砂 富三 工藤 俊治 石田 忠良	長野 俊八 青柳文四郎 橋本 健彦
新 世 代 奉 仕	橋本 日吉	郡司 守	伊藤 英夫

IM実行委員長 神作 彰

ソングリーダー 上田 利久 高橋 清

会 員 名 簿 (アルファベット順)

(別表 (2))

分 類	番 号	(フリガナ) 氏 名	職 業 分 類		事業所名		役職名	TEL
			生 年 月 日	年 令	郵便番号	事業所所在地		FAX
			入会年月日	年 数	郵便番号	自宅住所		TEL
A	1	アオヤギ プンシロウ 青 柳 文四郎	内装材料販売		(株)和光堂		取締役	275-0101
			昭 3.2.15	78	242-0006	大和市南林間1-15-11	㊦	275-2592
			平 15.6.19	3	242-0013	大和市深見台4-6-11		263-2227
B	2	バン ケイリュウ 番 桂 柳	外科医		大和中央外科		院長	261-7380
			昭 6.3.31	75	242-0021	大和市中央5-2-7	㊦	261-8977
			昭 60.4.18	21	242-0021	大和市中央5-2-7		261-6509
F	3	フジタ シゲナリ 藤 田 重 成	鉄骨建築		(有)藤田工務店		取締役	274-3931
			大 10.5.15	85	242-0006	大和市南林間1-5-15	㊦	275-5294
			昭 53.6.23	28	242-0006	大和市南林間1-5-15		274-3931
	4	フジツカ カツアキ 藤 塚 勝 明	木造建築		(有)藤塚工務店		代表取締役	263-7323
			昭 19.4.11	62	242-0017	大和市大和東1-9-20	㊦	264-6943
			昭 61.10.16	19	242-0017	大和市大和東1-9-20		261-1740
	5	フルゴオリ キョシ 古 郡 清	運送業		(有)緑運輸		代表取締役	261-5580
			昭 18.3.19	63	242-0021	大和市中中央7-16-15	㊦	261-4572
			昭 60.2.28	21	242-0017	大和市大和東1-10-15		261-0327
	6	フルキ カツハル 古 木 勝 治	農業		古木農園		代表	276-0801
			昭 11.8.12	69	242-0002	大和市つきみ野3-3-13	㊦	276-0288
			昭 54.10.18	26	242-0002	大和市つきみ野3-3-11		274-7632
G	7	ゴトウ サダキ 後 藤 定 毅	機械部品製造		フジ工業(株)		代表取締役	251-6100
			昭 18.6.11	63	228-0004	座間市東原2-16-26	㊦	229-3659
			昭 55.7.10	25	243-0023	厚木市戸田1086		228-7795
	8	ゲンジ マモル 郡 司 守	貸倉庫		(株)ゲンジ		代表取締役	045-641-7336
			昭 8.7.24	72	242-0012	大和市深見東1-4-31	㊦	045-753-0750
			再昭63.12.8	17	235-0021	横浜市磯子区岡村1-19-30		045-753-0750
H	9	ハシモト タケヒコ 橋 本 健 彦	電子部品製造		東京テック(株)		代表取締役	0467-77-0806
			昭 12.8.8	68	252-1112	綾瀬市上土棚中7-2-104	㊦	0467-77-0806
			昭 56.7.16	24	252-1112	綾瀬市上土棚中7-3-2		
	10	ハシモト ヒヨシ 橋 本 日 吉	ネットワーク機器販売		(株)東邦通信システムズ		代表取締役	276-5828
			昭 25.5.15	56	242-0007	大和市中中央林間1-10-7	㊦	276-5964
			平 13.3.15	5	242-0002	大和市つきみ野1-6-3-606		277-0818
	11	ハナワ ミツコ 塙 満 子	住宅建築		カムホーム(株)		代表取締役	262-9201
			昭 15.11.18	65	242-0029	大和市上草柳6-7-10	㊦	262-5422
			平 13.9.7	4	242-0018	大和市深見西8-4-26 パストラル大和405		264-8840
	12	ハラシマ ケンイチロウ 原 嶋 賢一郎	建築金物販売		(株)大黒屋		代表取締役	262-0106
			昭 25.7.2	55	242-0018	大和市深見西3-6-22	㊦	263-6738
			平 18.4.20	1	242-0018	大和市深見西3-6-22		262-0106
I	13	イイダ トヨタ 飯 田 豊 太	不動産取引		(有)大和地所		代表取締役	263-8880
			昭 18.7.2	62	242-0013	大和市深見台4-11-2	㊦	263-3408
			昭 62.11.5	18	242-0013	大和市深見台4-11-2		263-3408
	14	イシダ タダヨシ 石 田 忠 良	ガス機器エンジニア		(有)イシダ熱器		代表取締役	276-5321
			昭 12.6.3	69	242-0005	大和市西鶴間7-11-10		276-5428
			昭 62.4.23	19	242-0005	大和市西鶴間7-11-9		275-3740

分類	番号	(フリガナ) 氏 名	職 業 分 類		事業所名	役職名	TEL
			生 年 月 日	年 令	郵便番号 事業所所在地		FAX
			入会年月日	年 数	郵便番号 自宅住所		TEL
I	15	イシカワ ケンジ 石 川 健 次	中華料理		㈱北京飯店	代表取締役	261-7160
			昭 28.2.2	53	242-0021 大和市中心2-4-18	㊦	261-0127
			平 1.8.3	16	242-0021 大和市中心2-9-11		263-7470
	16	イトウ ヒデオ 伊 藤 英 夫	スーパーマーケット		(有)イトウ	代表取締役	263-3000
			昭 13.3.18	68	242-0005 大和市西鶴間4-7-5	㊦	263-5100
			昭 53.6.23	28	242-0005 大和市西鶴間4-7-5		263-5100
	17	イリエ キミトシ 入 江 公 敏	自動車学校		大和自動車学校	常務取締役	262-1212
			昭 30.2.14	50	242-0018 大和市深見西4-3-29	㊦	261-9911
			平 17.10.13	1	253-0024 茅ヶ崎市平和町2-10		0467-87-8721
K	18	カミサク アキラ 神 作 彰	物流代行業		石井運輸㈱	代表取締役	277-5656
			昭 19.3.6	62	242-0007 大和市中心林間1-5-6	㊦	277-5711
			昭 58.3.3	23	242-0007 大和市中心林間1-5-6		277-5656
	19	キシ ユキヒロ 岸 幸 博	住宅設備		岸木工(有)	代表取締役	261-4537
			昭 24.12.5	56	242-0017 大和市大和東3-2-13	㊦	264-7476
			平 5.3.4	13	242-0017 大和市大和東3-2-13		261-4537
	20	キタサゴ トミゾウ 北 砂 富 三	損害保険		㈱オーシャニック	代表取締役	042-746-1810
			昭 7.7.20	73	228-0814 相模原市南台3-18-1 トミービル	㊦	042-748-9069
			昭 53.6.23	28	242-0006 大和市南林間5-2-16		274-1230
	21	クドウ トシハル 工 藤 俊 治	日本料理		旬庵	代表	271-1063
			昭 22.10.16	58	242-0006 大和市南林間1-7-17	㊦	271-1063
			平 14.3.7	4	194-0012 町田市金森584-6		042-726-6028
	22	コヤナギ トモヒロ 小 柳 智 裕	生命保険		(有)F P ブレイン	代表	271-1212
			昭 34.10.4	46	242-0007 大和市中心林間3-5-15-202	㊦	276-1718
			平 14.3.7	4	242-0005 大和市西鶴間5-1-25-210		262-5474
M	23	マエハラ カズオ 前 原 一 男	紳士服販売		(有)アローテラー	代表取締役	263-8239
			昭 16.9.28	64	242-0021 大和市中心1-2-5	㊦	263-8974
			昭 58.5.12	23	242-0024 大和市福田5-14-6		267-7066
	24	マキタ セイザブろう 蒔 田 誠三郎	印刷業		(有)アドタック	会長	264-8337
			昭 15.8.23	65	242-0021 大和市中心7-16-18 ダイメイビル1F	㊦	264-8274
			平 7.9.7	10	246-0015 横浜市瀬谷区本郷1-18-13		045-302-6219
	25	マツモト タダアキ 松 本 忠 明	洋菓子製造販売		(有)チロル	代表取締役	261-6573
			昭 10.7.28	70	242-0013 大和市大和南1-5-11	㊦	264-0022
			昭 53.6.23	28	246-0035 横浜市瀬谷区下瀬谷3-28-1		045-301-5206
	26	マツザキ マサミ 松 崎 正 実	獣医		つきみ野松崎動物病院	院長	275-4556
			昭 25.1.4	56	242-0002 大和市つきみ野4-11-14	㊦	275-4552
			昭 56.12.3	24	242-0002 大和市つきみ野4-11-14		275-4556
	27	ムク シゲヒロ 椋 茂 廣	建築設計		(有)椋一級建築士事務所	代表取締役	042-742-1618
			昭 22.2.25	59	228-0001 座間市相模ヶ丘2-31-38	㊦	042-749-3170
			平 1.7.13	16	243-0431 海老名市上今泉5-32-8		046-233-1319
	28	ムラマツ ノリタカ 村 松 令 隆	工業薬品販売		水研化学工業㈱		263-2331
			昭 18.10.11	62	242-0012 大和市深見東3-6-14	㊦	263-2101
			再平 17.4.14	1	242-0024 大和市福田450-17		268-7606
	29	モテキ ジュンゾウ 茂 木 諄 三	レーザー加工		モテキ工業(有)	代表取締役	0467-76-1477
			昭 14.11.16	66	252-1103 綾瀬市深谷6603-1	㊦	0467-77-0783
			平 18.2.2	1	242-0024 大和市福田713-9		269-2831

分類	番号	(フリガナ) 氏 名	職 業 分 類		事業所名	役職名	TEL
			生 年 月 日	年令			FAX
			入会年月日	年数			TEL
N	30	ナガノ シュンノチ 長 野 俊 八	自転車販売		サイクルセンターナガノ	店主	274-4439
			昭 9.1.21	72	242-0006 大和市南林間1-19-11	㊦	275-1039
			昭 57.9.9	23	242-0006 大和市南林間1-19-11		274-4439
	31	ナカニシ イサオ 中 西 功	建築材料販売		(有)中西商店	代表取締役	274-4655
			昭 20.2.7	61	242-0004 大和市鶴間2-14-5	㊦	274-4490
			昭 53.8.17	27	242-0004 大和市鶴間2-14-5		274-9765
S	32	サトウ ノブオ 佐 藤 信 夫	プラスチック加工業		㈱アベックスポリマー	代表取締役	045-470-1661
			昭 19.10.21	61	222-0033 横浜市港北区新横浜2-14-2 ダヴィンチ新横浜214 4F	㊦	045-470-1771
			平 12.5.25	6	225-0029 横浜市青葉区すすき野1-6-60		045-909-5888
	33	スズキ ヒロコ 鈴 木 洋 子	洋楽器販売		㈱スズキピアノ商会	代表取締役	274-6683
			昭 21.4.20	60	242-0006 大和市南林間6-4-24	㊦	276-3434
			平 16.1.8	2	242-0003 大和市林間2-21-16-102		272-6400
	34	サワノボリ ジロウ 澤 登 次 郎	普通銀行		八千代銀行 大和支店	支店長	261-3241
			昭 26.8.14	55	242-0016 大和市大和南1-4-4	㊦	264-0612
			平 17.11.10	1	251-0037 藤沢市鵠沼海岸4-17-23		0466-33-2739
T	35	タカハシ キヨシ 高 橋 清	貸倉庫		(有)文が岡商事	代表取締役	261-5775
			昭 16.2.12	65	242-0028 大和市桜森3-15-6	㊦	261-5790
			昭 62.7.23	18	242-0028 大和市桜森3-15-6		261-5775
	36	タカハシ マサカツ 高 橋 政 勝	不動産賃貸		(有)高橋	代表取締役	261-7685
			昭 12.8.4	68	242-0029 大和市上草柳4-6-4	㊦	261-8736
			昭 55.10.30	25	242-0029 大和市上草柳4-6-4		261-7685
	37	タテモリ ミチアキ 館 盛 道 明	宗教		宗教法人曹洞宗定方寺	代表役員住職	274-0421
			昭 21.8.30	59	242-0001 大和市下鶴間145	㊦	272-0757
			平 10.12.3	7	242-0001 大和市下鶴間145		274-0421
	38	テラダ グロク 寺 田 五 六	土木業		㈱寺田土木	代表取締役	261-1294
			大 10.6.14	85	242-0029 大和市上草柳7-8-3	㊦	264-1426
			再平13.9.13	4	242-0006 大和市西鶴間4-12-11		261-1297
U	39	ウエダ トシヒサ 上 田 利 久	小児科医		ウエダ小児科	院長	274-6240
			昭 4.1.23	77	242-0003 大和市林間2-17-6	㊦	274-6240
			昭 53.6.23	28	242-0003 大和市林間2-17-6		275-1540
	40	ウメダ ヒデオ 梅 田 秀 雄	茶販売		㈱渡辺園	代表取締役	261-3744
			昭 19.1.19	62	242-0017 大和市大和東1-6-6	㊦	263-2013
			昭 62.4.9	19	242-0011 大和市深見2244-1		262-6610
	41	ウメノ フサコ 梅 野 房 子	葬祭業		(有)林間葬祭	代表取締役	265-4000
			昭 13.11.9	66	242-0007 大和市中央林間3-19-1	㊦	264-1600
			平 17.11.10	1	242-0029 大和市上草柳2-17-15		275-2304
Y	42	ヤマザキ ケンジ 山 崎 賢 二	不動産管理		(有)山崎事務所	代表取締役	263-0328
			昭 21.12.18	59	242-0017 大和市大和東1-9-9	㊦	264-0328
			平 6.1.6	12	242-0017 大和市大和東1-9-9		263-0328
	43	ヨコザワ ハジメ 横 澤 創	総合建設業		ニッケン建設㈱	代表取締役	267-1191
			昭 25.3.5	56	242-0025 大和市代官1-14-1	㊦	267-1105
			平 3.6.13	15	242-0014 大和市上和田3444-4		269-5399
	44						

(別表3)

歴代会務分担表

□=役員・理事 エレクト=会長エレクト 職業=職業奉仕 社会=社会奉仕 国際=国際奉仕 新世=新世代奉仕(青少年) クラブ=クラブ奉仕 会報=クラブ会報
親睦=親睦活動 プログ=プログラム スマイル=スマイルボックス 組織=組織部門 選考=会員選考 増強=会員増強 分類=職業分類 情報=ロータリー情報 環境=環境保全
財団=ロータリー財団 米山=米山奨学 姉妹ク=姉妹クラブ友好 ポリオ=ポリオプラス 職情=職業情報 世界=世界親睦理解 監査=会計監査 ☆=地区委員

◎委員長 ○副委員長 △委員

会 員 名 入会年月日	78～79	79～80	80～81	81～82	82～83	83～84	84～85	85～86	86～87	87～88	88～89	89～90	90～91	91～92	92～93	93～94	94～95	95～96	96～97	97～98	98～99	99～00	00～01	01～02	02～03	03～04	04～05	05～06	06～07	
藤 田 重 成 S53年 6 月23日	◎広報 ○情報	◎情報 △財団	◎計 △情報 △会報	◎選考	◎社会 ○米山	○広報	副会長 ◎クラブ	エレクト ○クラブ	◎会長 △情報	○情報	◎情報	△増強	◎雑誌	副SAA	◎増強	△雑誌	○職業	△米山	△国際	△財団	△財団	◎米山	△出席	△スマイル	監査 ○雑誌	△雑誌 監査	△選考	○環境	△広報 △職業	
郡 司 守 S53年 6 月23日	◎増強 ○会報	◎国際 ○会報	◎プログ △出席 △スマイル	副幹事 △プログ	幹事 退会						△親睦 (再入会) S63.12.8	○プログ △国際	○職業	副会長 ◎クラブ	◎親睦	○米山	◎SAA	○職業	△会報	◎財団	◎スマイル	S A A	○選考	◎職業	◎雑誌 △選考	◎出席	監査 ○米山	△親睦 監査	○新世	
伊 藤 英 夫 S53年 6 月23日	◎出席 △情報	◎青少 ○情報	◎情報	◎親睦 △財団	○社会 △プログ	副幹事 副SAA	幹事	◎SAA	◎増強	◎スマイル △増強	◎選考	△会報	副SAA	◎プログ	エレクト ○クラブ	◎会長 △情報 ☆	◎情報 △増強 ☆	◎情報	○米山	△職業	△スマイル	○国際	○広報	△選考	◎出席 ○環境	◎計 △選考	◎スマイル ○環境	◎雑誌 ○社会	◎増強 △新世	
北 砂 富 三 S53年 6 月23日	◎情報 ○国際	幹事	◎SAA △増強 △財団	◎広報 △社会	◎国際 △雑誌	△選考	◎スマイル	△プログ	◎社会 △クラブ	◎選考 △広報 △スマイル	エレクト ○クラブ ☆	◎会長 △情報	○情報 ☆	◎情報 △国際	◎会報 ☆	△プログ	◎米山 ○IM	○社会 ☆	○職業	◎増強	○クラブ	○スマイル	◎雑誌	○出席 △社会	◎増強 ○SAA	◎スマイル 監査	◎選考	◎計 監査	○財団	
松 本 忠 明 S53年 6 月23日	◎米山 △親睦	◎75周年 △国際	◎選考	◎社会 △プログ	○財団 △増強	◎選考	△出席 △増強	△広報	◎広報	副会長 ◎クラブ	◎増強	△雑誌	エレクト ○職情	◎会長 △情報	○情報 ☆	◎情報	○クラブ △プログ	◎増強	◎SAA	○雑誌	○社会	副会長 ◎クラブ	○出席	△増強	◎計 △会報 △スマイル	◎増強 ○SAA	◎環境 △職業 △社会	◎職業 監査		
上 田 利 久 S53年 6 月23日	◎雑誌 △分類	◎会報 ○分類	◎国際 ○分類	△広報 △職業	◎プログ △出席	副会長	エレクト ○クラブ	◎会長 △情報	○情報	◎情報 △ポリオ △雑誌	○ポリオ △出席	◎選考	副SAA	○職業	○出席	◎雑誌 ☆	△職情	◎財団	◎親睦	◎増強	◎環境 △社会	△雑誌 ○財団	△広報	○親睦	◎広報 △職業	◎雑誌	◎プログ △社会	◎米山 △国際 監査	◎選考 監査	
寺 田 五 六 S53年 6 月23日	◎選考 ○職業	◎職業 △増強	◎増強 △親睦 △米山	副会長	◎会長 △情報	○情報 △国際	◎情報	○増強	○広報	△クラブ △増強	◎広報	△社会	△国際	△選考 △スマイル	◎財団	△国際	○選考	△職業	△雑誌	○米山	○選考	△環境		△親睦 (再入会) H13.9.13	△国際	△財団	△財団	○雑誌	○国際	
中 西 功 S53年 8 月17日	△親睦	◎親睦 △増強 △社会	◎米山 △青少	◎計 ○青少	◎青少 △プログ	○出席	○国際 △選考	◎財団	○職業	◎会報 △米山	◎国際	副幹事 △スマイル	幹事	○職情	◎SAA	◎会報	○職情	◎職業	○クラブ ○雑誌	◎雑誌 △クラブ	エレクト ◎組織	◎会長 △情報	○情報 ☆	◎情報 △プログ	◎会報 ○情報	○プログ	◎プロ △会報	◎SAA △増強	○広報 △環境	
古 木 勝 治 S54年10月18日		△親睦	◎親睦 △プログ	◎会報	副幹事	幹事	◎SAA	◎社会	◎財団	◎増強	副会長 ◎クラブ	△職情	◎選考	△米山	◎広報	エレクト ○クラブ	◎会長 △情報	○情報 ☆	◎情報	◎情報	△選考	△職業	○青少	監査 △雑誌	監査 ◎スマイル	◎財団	△環境	◎雑誌	△プログ △米山	◎社会 △選考
後 藤 定 毅 S55年 7 月10日			△親睦	◎プログ ○国際	◎会報 ○社会	◎計	◎親睦	◎国際	◎スマイル	○社会 △プログ	副幹事 副SAA	幹事	○ポリオ △出席	◎SAA	○国際 △広報	◎社会	◎雑誌	○クラブ	エレクト ◎組織	◎会長 △情報	○情報 ☆	◎情報	副会長 ◎クラブ ☆	◎新世	◎親睦	◎選考	◎財団 ○スマイル	◎職業 ◎雑誌	◎雑誌	
高 橋 政 勝 S55年10月30日			△親睦	◎出席 △財団	◎選考 △青少	◎社会 △青少	◎米山 △青少	◎青少	副幹事 副SAA	幹事	◎プログ △クラブ	◎SAA	◎会報	△増強	◎職業	○環境	エレクト ◎組織	◎会長 △情報	○情報	◎情報	◎選考	◎増強	監査 △新世	副会長 ◎クラブ	◎プログ ○国際	◎財団 △国際	◎雑誌 △国際	◎広報 △姉妹ク	◎国際	
橋 本 健 彦 S56年 7 月16日			△親睦	◎親睦 △プログ	◎親睦 △増強	◎国際	◎プログ	○出席	△国際	△雑誌	○職業	◎財団	○出席	副会長 ◎クラブ	△職業	◎情報 ○会報	◎スマイル	△米山 △選考	エレクト ◎組織	◎会長 △情報 ☆	◎情報 ☆	◎情報 △米山	○クラブ	○選考	○選考	△環境	○広報 △国際	△スマイル △姉妹ク		
松 崎 正 実 S56年12月 3 日			△親睦	○スマイル △親睦	○親睦 △社会	◎出席	◎会報	◎計	◎親睦	○財団	◎財団	◎国際	◎会報 △分類	○分類	◎分類	◎増強	副幹事 △環境	幹事	△分類	◎米山 ○分類	◎分類 スマイル	◎SAA	○職業 △雑誌	◎環境 △会報	○広報 △出席	エレクト ◎組織	◎会長 △情報	◎財団 △情報	◎選考 △国際	
長 野 俊 八 S57年 9 月 9 日				△親睦	◎増強 △職業	◎雑誌 △青少	◎出席 ○青少	◎青少	○親睦 △青少	◎親睦	◎プログ	副幹事 △会報	幹事	△分類	◎SAA ○分類	◎分類 ○社会	副会長 ◎クラブ	○スマイル	△会報	○プログ	◎選考	△スマイル	◎環境 ○社会	エレクト ◎組織	◎会長 △情報	○情報	◎情報 △国際	◎SAA △財団		
神 作 彰 S58年 3 月 3 日				△親睦	△親睦	○分類 △スマイル	◎分類 △SAA	米山	◎広報	◎職情 △職業	○出席	○米山	◎国際	副幹事 △プログ	幹事	△分類 △国際	◎SAA ○分類	◎分類	◎分類 △広報	○国際	○会報	◎選考 ○クラブ	◎財団	△出席 △国際	◎スマイル	◎会長	◎増強 △情報	◎情報 △姉妹ク △国際		
前 原 一 男 S58年 5 月12日				△親睦	△親睦	○社会	◎親睦 △青少	◎会報 ○青少	◎青少	◎スマイル △青少	副SAA ○ポリオ	◎プログ	副幹事 △会報	幹事	△分類 △社会	◎会報 ○分類	◎分類	副会長 ◎クラブ	◎SAA	◎親睦 △選考	◎職業	◎雑誌 △スマイル	エレクト ◎組織	◎会長 △情報	○情報	◎情報 △親睦	◎国際	◎スマイル △プログ		
古 郡 清 S60年 2 月28日				△親睦	△親睦	○親睦 △青少	◎増強 ○青少	◎青少	◎親睦	◎増強	○スマイル	◎社会	○広報 △会報	○財団	◎環境	副幹事 △SAA	幹事	△分類 △会報	◎SAA	◎分類 △会報	◎選考	◎分類 △プログ	△親睦 △環境	◎選考	副会長 ◎クラブ	◎米山 △会報	エレクト ◎組織	◎会長 △情報		
番 桂 柳 S60年 4 月18日				△親睦	△職業	△スマイル	○雑誌	◎職業	◎スマイル	副会長 ◎クラブ	△プログ	副SAA	◎米山	◎プログ	○広報	◎会報	○選考	◎出席 △クラブ	○雑誌	◎国際	△財団	△職業	○財団	△雑誌	○米山 △親睦	◎出席				
藤 塚 勝 明 S61年10月16日				△親睦	○財団 △親睦 △青少	○青少	◎青少	◎職情	◎米山	△会報	◎親睦	○広報	◎計 △出席	◎プログ	副幹事 △SAA	幹事	○環境 △分類	◎会報 ○分類	◎SAA ○分類	◎分類 ○親睦	◎新世 △親睦	◎増強 ○国際	副会長 ◎クラブ	エレクト ◎組織	◎会長 △情報	○情報	◎情報 △親睦	◎国際	◎増強 △SAA	
梅 田 秀 雄 S62年 4 月 9 日				△親睦	△親睦	△青少	○青少	◎青少	○親睦	○社会 △世界	○職業	◎親睦	○社会 △世界	○職業	◎親睦	○会報	◎社会	副SAA	◎財団	副幹事 △青少	幹事	△分類 △財団	◎米山 ○分類	◎分類 ◎SAA	◎国際	◎増強 △スマイル	◎会報 △選考 △クラブ			
石 田 忠 良 S62年 4 月23日				△親睦	△親睦	△社会	◎広報	△財団	◎職業	△親睦 △国際	○国際	◎スマイル	◎親睦	△環境	◎国際	◎計 △プログ	△財団 △広報	◎増強	◎出席	○米山	○国際	△米山	△会報 △新世代	◎環境 △姉妹ク △社会						
高 橋 清 S62年 7 月23日				△親睦	△職業	◎会報	◎親睦	○社会	◎米山	○社会	◎社会	○財団	◎出席	◎職業	◎SAA	◎プログ	副幹事	幹事	△分類	◎国際 ○分類	◎SAA ○分類	◎分類 △プログ	◎増強 △出席							
飯 田 豊 太 S62年11月 5 日				△親睦	△出席	○親睦	◎スマイル	○財団	○職業 △社会	◎職業	○環境	◎出席 △会報	○選考	◎計	◎親睦 △クラブ	△増強 △プログ	◎米山 △国際	○環境 △広報	◎スマイル △環境	◎社会 △会報	副会長 ◎クラブ	◎新世代	◎親睦 △SAA							
棕 茂 廣 H 1 年 7 月13日								△親睦	△親睦	△会報 △青少	○青少 △スマイル	◎青少	△会報	◎プログ	◎国際	○社会	○広報	◎広報	◎社会 △会報	○スマイル	○広報 △新世	○米山 △親睦	△出席	◎選考 △新世代	◎プログ					
石 川 健 次 H 1 年 8 月 3 日								△親睦	△会報	△親睦	△職業	◎国際	○世界	◎社会	○会報	◎親睦 △クラブ	○米山	◎会報	◎新世 △SAA	副幹事 ○新世	幹事	△分類	◎分類 ○新世	◎プログ	◎SAA					
横 澤 創 H 3 年 6 月13日								△親睦	△親睦	△会報 △米山	○親睦	◎出席	○青少 △プログ	◎青少	○職業 △スマイル	◎会報 △クラブ	△SAA	◎新世	○増強	◎増強 ○プログ	◎雑誌 ○出席	◎社会 ○出席	◎副幹事 △姉妹ク	◎幹事 △分類						
岸 幸 博 H 5 年 3 月 4 日										△親睦	△親睦	△出席	△広報 △国際	◎広報	○青少	◎青少	◎スマイル	△親睦 △社会	○選考 △会報	◎社会 △職業	◎増強 △プログ	◎選考 △国際	◎財団 △国際	◎副幹事 △SAA	◎幹事 △分類 △スマイル	◎分 △社会	◎分 △国際	◎分 △社会		
山 崎 賢 二 H 6 年 1 月 6 日														△親睦	△親睦	△会報	◎スマイル	◎会報 △クラブ	◎SAA	◎国際	◎会報 △職業	◎増強	◎職業	○社会 △米山 IT担当	◎会報	△SAA △財団	◎副幹事 ○出席			
蒔 田 誠三郎 H 7 年 9 月 7 日															△親睦	△親睦	△会報 △雑誌	○青少 △出席	◎計 △プログ	◎財団 ○国際	◎会報	副幹事 △SAA	◎幹事 △分類 △スマイル	◎SAA ○分類	◎分 △会報					
館 盛 道 明 H10年12月 3 日																				△親睦	△会報	◎親睦	△SAA	◎国際	副幹事 △SAA	◎幹事 △分類 △姉妹ク	◎分 △社会	◎分 △国際	◎分 △社会	
佐 藤 信 夫 H12年 5 月25日																					△親睦	△親睦	△職業	○社会 △雑誌	◎職業	◎財団 △国際	◎出席 △会報	◎計 △米山 △国際		

退 会 者 名 簿

(別表 (4))

No.	氏 名	入会年月日	退会年月日	現役逝去
1	坪 井 源二郎 君		S 53. 5. 18	
2	淡 谷 光 彦 君	S 53. 6. 23	S 53. 12. 21	
3	蜂 屋 良 平 君	S 53. 6. 23	S 58. 7. 14	
4	猪 熊 唯 夫 君	S 53. 6. 23	H 5. 9. 25	○
5	亀 谷 志 郎 君	S 53. 6. 23	H 2. 5. 10	
6	小 菅 兼三郎 君	S 53. 6. 23	S 54. 3. 15	
7	宮之原 寛 一 君	S 53. 6. 23	S 54. 6. 28	
8	小笠原 一 四 君	S 53. 6. 23	S 54. 1. 11	
9	大 高 安 男 君	S 53. 6. 23	S 59. 12. 20	
10	佐 藤 実 君	S 53. 6. 23	S 57. 6. 24	
11	須 藤 正 道 君	S 53. 6. 23	S 54. 5. 17	
12	寺 田 伍 六 君	S 53. 6. 23	H 11. 12. 18	
13	郡 司 守 君	S 53. 6. 23	S 58. 4. 21	
14	富 澤 重 徳 君	S 53. 6. 23	H 9. 12. 20	
15	矢 野 久 元 君	S 53. 6. 23	S 54. 1. 23	○
16	長谷川 清 一 君	S 53. 6. 23	H 15. 2. 6	○
17	土 屋 翁 三 君	S 53. 6. 23	H 13. 7. 5	
18	芦 田 敬 治 君	S 53. 6. 23	H 15. 10. 9	○
19	辻 國 明 君	S 53. 7. 27	H 14. 7. 22	○
20	袴 田 和 雄 君	S 53. 8. 10	S 54. 10. 4	
21	近 藤 富士男 君	S 53. 12. 14	H 14. 9. 2	○
22	石 渡 英二郎 君	S 54. 1. 18	H 10. 5. 21	
23	木 崎 健 祐 君	S 54. 2. 22	S 55. 9. 11	
24	有 澤 昭 二 君	S 54. 3. 22	H 12. 6. 30	
25	山 田 旭 君	S 54. 4. 5	S 57. 6. 30	
26	保 田 達 君	S 54. 4. 12	S 57. 7. 29	
27	竹之内 弘 美 君	S 54. 4. 12	S 59. 11. 1	
28	伊 藤 正 男 君	S 54. 5. 10	S 58. 6. 30	
29	布 施 光 雄 君	S 54. 5. 10	H 7. 6. 26	
30	高 山 正 雄 君	S 54. 10. 25	S 55. 10. 9	
31	竹 山 健 一 君	S 54. 12. 6	S 57. 7. 24	
32	松 本 三 郎 君	S 55. 7. 31	H 5. 6. 30	
33	伊 藤 宣 男 君	S 55. 9. 11	S 60. 12. 5	

No.	氏 名	入会年月日	退会年月日	現役逝去
34	合 田 良 徳 君	S 55. 10. 2	S 59. 3. 15	
35	細 野 順 造 君	S 55. 10. 2	S 61. 6. 26	
36	二 見 長 幸 君	S 55. 10. 30	H 8. 6. 27	
37	国 方 隆 君	S 55. 11. 6	S 57. 5. 13	
38	池 田 武 和 君	S 55. 12. 18	S 58. 6. 30	
39	山 中 忠 誠 君	S 55. 12. 18	S 58. 12. 16	
40	三 浦 泰 之 君	S 56. 4. 9	S 62. 5. 28	
41	古田土 勝 美 君	S 56. 6. 18	H 9. 6. 26	
42	福 本 国 雄 君	S 56. 11. 19	S 59. 2. 16	
43	杉 山 元次郎 君	S 57. 6. 24	S 59. 2. 23	
44	上 田 勝 君	S 57. 6. 24	S 59. 6. 28	
45	上 村 幹 雄 君	S 57. 7. 15	H 12. 11. 16	○
46	三 国 誠 文 君	S 57. 7. 15	S 57. 10. 14	
47	古 川 巖 君	S 57. 8. 26	H 7. 5. 18	
48	菊 池 康 公 君	S 57. 8. 26	H 16. 4. 15	
49	原 田 穆 君	S 57. 11. 18	H 2. 9. 27	
50	小 島 健 一 君	S 57. 11. 18	H 7. 5. 11	
51	金 井 大 輔 君	S 58. 3. 31	S 62. 12. 3	
52	種ヶ島 実 君	S 58. 4. 7	S 59. 8. 13	○
53	南 川 忠 常 君	S 58. 6. 9	S 60. 4. 4	
54	青 木 豊 治 君	S 58. 12. 15	S 59. 5. 14	
55	岡 本 重 之 君	S 59. 1. 5	S 61. 6. 26	
56	清 水 洋 三 君	S 59. 3. 29	H 4. 6. 30	
57	三 浦 泰 之 君	S 59. 7. 12	S 62. 5. 28	
58	木 村 誠 二 君	S 59. 9. 6	H 11. 12. 18	
59	児 玉 清 君	S 59. 9. 6	H 10. 5. 7	
60	染 谷 信 行 君	S 59. 9. 6	S 61. 1. 16	
61	小 林 勇 君	S 59. 9. 6	H 15. 12. 31	
62	大 西 昭 君	S 60. 2. 28	S 61. 6. 26	
63	岩 田 一 夫 君	S 60. 3. 7	H 5. 6. 30	
64	竹 本 正 俊 君	S 60. 3. 7	S 60. 10. 16	
65	渡 辺 吉三郎 君	S 60. 3. 7	S 60. 12. 5	
66	加 藤 好 秋 君	S 60. 4. 18	H 1. 4. 20	
67	藤 沢 孝 行 君	S 60. 6. 6	S 60. 8. 22	
68	熊 倉 光 男 君	S 60. 7. 4	S 63. 3. 10	

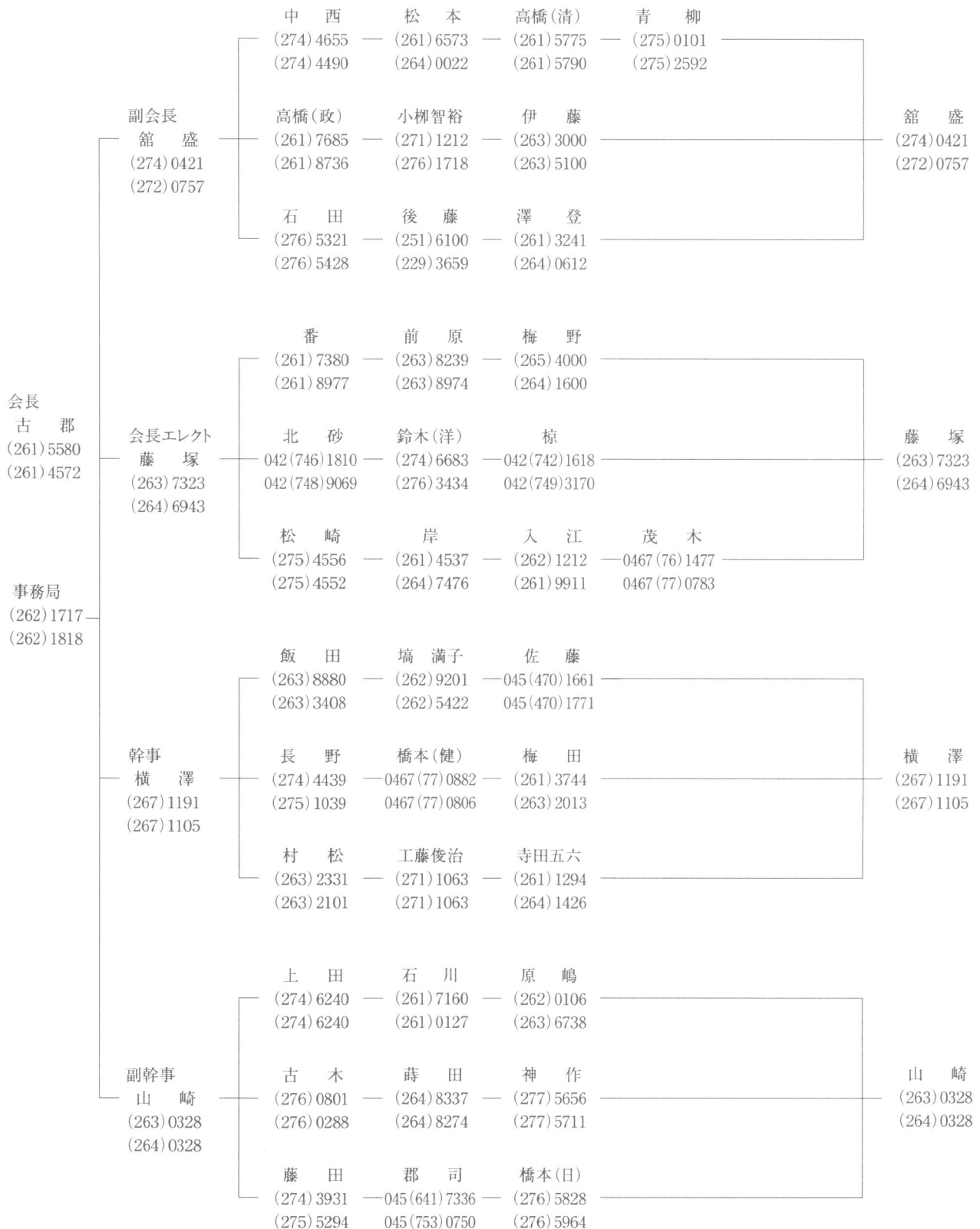
No.	氏 名	入会年月日	退会年月日	現役逝去
69	飯 島 順一郎 君	S 60. 10. 24	S 62. 4. 9	
70	千 田 徹 君	S 61. 10. 9	H 1. 9. 7	
71	栗 原 宣 明 君	S 62. 6. 18	H 1. 3. 2	
72	茅 根 勉 君	S 62. 8. 13	H 4. 6. 25	
73	本 田 博 司 君	S 62. 7. 9	H 13. 11. 30	
74	吉 岡 恒 夫 君	S 62. 10. 29	H 4. 7. 16	
75	佐 藤 正 勝 君	S 63. 3. 17	H 4. 4. 30	
76	千 葉 庄 平 君	S 63. 4. 7	H 2. 6. 7	
77	大 門 宏 光 君	S 63. 4. 7	H 2. 12. 13	
78	中 田 洲 平 君	S 63. 4. 7	S 63. 5. 19	
79	渡 井 和 郎 君	S 63. 4. 7	S 63. 10. 20	
80	佐 藤 公 男 君	S 63. 4. 21	H 3. 3. 14	
81	加 藤 真 義 君	H 1. 2. 23	H 11. 7. 22	
82	立 岡 英 一 君	H 1. 5. 11	H 2. 6. 28	
83	村 野 安 範 君	H 1. 5. 11	H 3. 6. 27	
84	柿 本 伊佐男 君	H 1. 9. 14	H 13. 6. 30	
85	薩 田 信次郎 君	H 1. 11. 9	H 14. 12. 31	
86	松 本 二 郎 君	H 1. 12. 14	H 2. 6. 28	
87	蒲 生 文 衛 君	H 2. 5. 10	H 16. 6. 30	
88	竹 原 繁 男 君	H 2. 6. 14	H 14. 6. 30	
89	星 輝 明 君	H 3. 6. 20	H 5. 6. 18	
90	中 島 繁 男 君	H 3. 9. 26	H 6. 6. 9	
91	迫 田 洋一郎 君	H 3. 12. 19	H 10. 6. 25	
92	山 下 精 一 君	H 3. 12. 19	H 6. 12. 29	
93	依 田 儀 一 君	H 4. 11. 12	H 17. 6. 30	
94	山 口 敏 彦 君	H 5. 6. 24	H 9. 6. 12	
95	望 月 英 男 君	H 5. 6. 24	H 8. 5. 28	
96	中 村 彰 君	H 6. 5. 12	H 11. 7. 22	
97	小 野 孝 男 君	H 7. 2. 9	H 13. 6. 30	
98	中 稻 隆 次 君	H 7. 5. 25	H 10. 6. 25	
99	牧 野 弘 君	H 7. 6. 15	H 14. 6. 30	
100	目 黒 雄 介 君	H 8. 3. 7	H 16. 6. 30	
101	佐 藤 伴 道 君	H 8. 3. 21	H 10. 3. 12	
102	菅 井 正 博 君	H 8. 5. 2	H 10. 4. 9	
103	佐々木 万次郎 君	H 8. 7. 18	H 11. 12. 18	

No.	氏 名	入会年月日	退会年月日	現役逝去
104	村 松 令 隆 君	H 9. 2. 20	H 14. 11. 11	
105	阿 部 豪 一 君	H 9. 4. 3	H 13. 12. 27	
106	岡 部 明 君	H 10. 6. 11	H 13. 12. 27	
107	清 水 登米彦 君	H 10. 7. 2	H 11. 3. 30	
108	小 倉 弘 君	H 12. 5. 17	H 14. 3. 31	
109	高 橋 潔 君	H 13. 3. 8	H 16. 6. 30	
110	水 落 悟 君	H 14. 10. 3	H 16. 7. 29	
111	間 山 進 也 君	H 14. 11. 7	H 16. 6. 30	
112	疋 田 哲 夫 君	H 14. 4. 25	H 17. 10. 13	
113	長谷川 清 君	H 9. 8. 28	H 17. 10. 31	
114	鈴 木 博 士 君	H 11. 5. 6	H 17. 12. 31	
115	鈴 木 久次郎 君	S 53. 12. 7	H 18. 6. 30	

大和中ロータリークラブ電話連絡網

上段：事業所
下段：FAX

(別表 (5))



〔注〕

1. 番号を確かめて、正確、迅速に伝えて下さい。
2. 次の人が不在の時にはその次の人まで連絡するようにして下さい。
3. 最後の人は連絡受領の報告を各自の最初の人に受けた内容も含めて連絡して下さい。
4. 番号は上段が事業所、下段がFAXです。自宅の電話番号は会員名簿を参照して下さい。
5. 緊急連絡事項は必ずクラブ幹事迄ご連絡下さい。

ク ラ ブ 運 営 規 程 集

大和中ロータリークラブ定款
大和中ロータリークラブ細則
大和中ロータリークラブ内規

大和中ロータリークラブ

2006年 7 月 1 日現在

大和中ロータリークラブ定款

第1条 定義

本条の語句は、本定款で使われる場合、他に明確に規定されない限り、次の意味をもつものとする。

1. 理事会：本クラブの理事
2. 細 則：本クラブの細則
3. 理 事：本クラブの理事会メンバー
4. 会 員：名誉会員以外の本クラブ会員
5. R I：国際ロータリー
6. 年 度：7月1日に始まる12カ月間

第2条 名称

本会の名称は、大和中ロータリークラブとする。(国際ロータリー加盟会員)

第3条 クラブの所在地域

本クラブの所在地域は、次の通りとする：大和市

《但し第4条綱領以下は、「標準ロータリークラブ定款」によるものとする。》
(2001年版手続要覧)

附 則

1. 本定款は、昭和53年5月9日から適用する。

大和中ロータリークラブ細則

第1条 役員、理事および会計監査の選挙

第1節 選挙

役員、理事および会計監査を選挙すべき会合の1カ月前の例会において、その議長たる役員は会員に対して、会長（次次年度）、副会長、会計ならびに5名の理事および2名の会計監査を指名することを求めなければならない。その指名は、次に定めるところに従って指名委員会によって行うものとする。適法に行われた指名は各役職ごとに年次総会において投票に付せられるものとする。投票の過半数を獲得した会長（次次年度）、副会長および会計がそれぞれ該当する役職に当選したものと宣言されるものとする。投票の過半数を得た5名の理事候補が理事に当選したものと宣言されるものとする。投票の過半数を得た2名の会計監査候補が会計監査に当選したものと宣言されるものとする。前記の投票によって選挙された会長（次次年度）および副幹事は、その選挙のあと、7月1日に始まる年度に、会長エレクトおよび副幹事として理事会のメンバーを務め、会長エレクトおよび副幹事として理事会のメンバーを務めた年度直後の7月1日に、会長および幹事に就任するものとする。

指名委員会は、直前会長よりさかのぼり5名のバスト会長および会長、会長エレクト、幹事、副幹事の9名をもって構成されるものとする。議長は会長が務め、定足数は過半数とし、また選出の方法は合議制とし、意見が一致しない場合は無記名多数決制とする。会長（次次年度）および副会長候補者は、役員および理事の経歴を有する者の中から選出し、その他の役員、理事および会計監査候補者は、指名の時点で2年以上のロータリー歴を有する者の中から選出する。

第2節 会場監督の選出

選挙された役員および理事をもって理事会を構成するものとする。選挙によって決定した次年度理事会は、1週間以内に会合してクラブ会員の中から会場監督を務めるものを選任しなければならない。

第3節 理事会等の欠員の補填

理事会またはその他の役職に生じた欠員は残りの理事会の構成メンバーの決定によって補填すべきものとする。

第4節 役員エレクト等の欠員の補填

役員エレクトまたは理事エレクトの地位に生じた欠員は残りの被選理事会の構成メンバーの決定によって補填すべきものとする。

第2条 理事会

本クラブの管理主体は本クラブの会員11名より成る理事会とする。すなわち本細則第1条第1節に基づいて選挙された5名の理事、会長、副会長、会長エレクト、幹事、会計および会場監督である。なお理事は、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕および副幹事のいずれかの任務を担当しなければならない。

第3条 役員等の任務

第1節 会長

本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって会長の任務とする。

第2節 会長エレクト

会長エレクトは理事会のメンバーとしての任務およびその他会長または理事会によって定められる任務を行うものとする。

第3節 副会長

副会長はクラブ奉仕委員会委員長を務めるとともに、会長不在の場合は本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって副会長の任務とする。

第4節 幹事

幹事の任務は、会員の記録を整理保管し、会合における出席を記録し、クラブ、理事会および委員会の諸会合の通知を発送し、これらの会合の議事録をつくってこれを保管し、毎年1月1日および7月1日現在をもってR I 事務総長に対して行わなければならない半期会員報告、半期報告を提出した7月1日または1月1日よりも後にクラブ会員に選ばれた正会員について10月1日と4月1日に事務総長に提出する四半期会員報告、R I 事務総長に対して行うべき会員資格変更報告、毎月の最終例会の直後15日以内に地区ガバナーに対して行わなければならないクラブ例会の月次出席報告を含む、諸種の義務報告をR I に対して行い、ロータリアン誌の購読料を徴収してこれをR I に送金し、その他通常その職に付随する任務を行うにある。

第5節 会計

会計の任務は、すべての資金を管理保管し、毎年1回およびその他理事会の要求あるごとにその説明を行い、その他通常その職に付随する任務を行うにある。その職を去るに当たっては会計はその保管するすべての資金、計算帳簿、その他あらゆるクラブ財産を、その後任者または会長に引き継がなければならない。

第6節 会場監督

会場監督の任務は通常その職に付随する任務、およびその他会長または理事会によって定められる任務とする。

第7節 副幹事

副幹事は会長エレクトを補佐し、幹事不在の場合は本クラブの会合および理事会の会合において代理を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって副幹事の任務とする。

第4条 会合

第1節 年次総会

本クラブの年次総会は毎年12月第1週の例会に開催されるものとする。そしてこの年次総会において次年度の役員および理事の選挙を行わなければならない。

第2節 例会

本クラブの毎週の例会は木曜日12:30時に開催するものとする。例会に関するあらゆる変更または例会の取り消しはすべてクラブの会員全部にしかるべく通告されなければならない。本クラブの瑕疵なき会員はすべて、名誉会員（または標準ロータリー・クラブ定款第8条第2節（b）の規定に基づき、本クラブ理事会によって出席を免除された会員）を除き、例会の当日、その出席又は欠席が記録され、その出席は、本クラブ又は他のロータリー・クラブにおいて、その例会に充当された時間の少なくとも60パーセント出席していたことが実証されるか、もしくは標準ロータリークラブ定款第8条第1節の別段の規程によるものでなければならない。

第3節 年次総会等の定足数

会員総数の3分の1をもって本クラブの年次総会および例会の定足数とする。

第4節 理事会開催日

定例理事会は毎月1回、当該年度理事会の決定により定められた例会後に開催されるものとする。臨時理事会は会長がその必要ありと認めたとき、または理事会のメンバー2名の要求あるとき、会長によって召集されるものとする。但しその場合しかるべき予告が行われなければならない。

第5節 理事会の定足数

理事会のメンバーの過半数をもって理事会の定足数とする。

第5条 入会金および会費

第1節 入会金

入会金は100,000円とし、入会承認に先んじ納入すべきものとする。但し、R I 定款第5条第2節(a) (ii) に該当する者で前任者が当クラブの正会員であった場合と、クラブ定款第6条第4節に従い、本クラブの会員として受け入れられた、移籍する会員あるいは他クラブに属していた元会員は、入会金の納入を要しないものとする。

第2節 会費

会費は年額250,000円とし、各半年ごとの各支払額のうち米貨6ドルは各会員のロータリアン誌の購読料に充当するという諒解の下に、毎年2回7月1日および1月1日に納入すべきものとする。

第3節 途中入退会等の会費

途中入退会の会費については月割りとし、退会の場合は返還をしないものとする。また、会費納入に関し、特別な事情が生じた場合には、理事会において決定するものとする。

第6条 採決の方法

本クラブの議事は、役員および理事等を投票によって選挙する場合を除き、口頭による採決をもって処理されるものとする。

第7条 委員会

第1節 常任委員会の設置

(a)会長は理事会の承認の下に次の常任委員会を設置しなければならない。

クラブ奉仕委員会

職業奉仕委員会

社会奉仕委員会

国際奉仕委員会

新世代奉仕委員会

(b)会長はまた、理事会の承認の下、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕および新世代奉仕について、必要と考える特定分野を担当する委員会を設置するものとする。

- (c) クラブ奉仕委員会を統轄する副会長を除き、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会および新世代奉仕委員会は、それぞれ会長が理事の中から任命する委員長および少なくとも2名以上の他の委員から成るものとする。
- (d) 会長は、職権上すべての委員会の委員となるものとし、その資格において委員会に付随するあらゆる特典をもつものとする。
- (e) 各委員会は本細則によって付託された職務およびさらにこれに加えて会長または理事会が付託する事項を処理すべきものとする。理事会によって特別の権限を与えられた場合を除き、これらの委員会は、理事会に報告してその承認を得るまでは行動してはならない。

第2節 クラブ奉仕委員会

- (a) クラブ奉仕委員会委員長は、クラブ奉仕の諸活動全部に対して責任をもち、かつクラブ奉仕の各特定分野について設置されたあらゆる委員会の仕事を監督、調整する任務を持つものとする。
- (b) クラブ奉仕委員会は、クラブ奉仕委員会委員長とクラブ奉仕の特定の分野を担当するすべての委員会の委員長によって構成されるものとする。
- (c) 会長は理事会の承認の下にクラブ奉仕の中の特定分野を担当する次の各委員会を設置するものとする。

出席委員会

クラブ会報委員会

親睦活動委員会

雑誌委員会

プログラム委員会

広報委員会

スマイルボックス委員会

会員選考委員会

会員増強委員会

次の委員会に毎年1名ずつの委員を任命するものとする。

職業分類委員会

ロータリー情報委員会

- (d) 会長は、会長エレクトに命じ、会員選考、会員増強、職業分類、ロータリー情報委員会の仕事を監督、調整させるものとする。
- (e) クラブ諸委員会の設置について、可能かつ実際的である限り、1名または数名の委員を再任するかまたは1名または数名の委員を2カ年の任期をもって任命することにより委員会に継続性をもたせる規定を設けるべきものとする。

- (f)職業分類委員会およびロータリー情報委員会は、各々3名の委員をもって構成されるものとし、それぞれ毎年1名の委員を3年の任期をもって任命するものとする。本規定に基づく最初の任命は次のごとく行うものとする。1名は1年、1名は2年、1名は3年の任期をもって、それぞれ任命する。

第3節 職業奉仕委員会

- (a)職業奉仕委員会委員長は、職業奉仕の諸活動の全部に対して責任をもち、かつ職業奉仕の各特定分野について設置されたあらゆる委員会の仕事を監督、調整する任務をもつものとする。
- (b)職業奉仕委員会は、職業奉仕委員会の委員長と職業奉仕の特定分野を担当するすべての委員会の委員長と他の委員によって構成されるものとする。
- (c)会長は理事会の承認を受け、職業奉仕の特定分野について次の委員会を設置することができる。

職業情報委員会

職業指導委員会

就職相談委員会

第4節 社会奉仕委員会

- (a)社会奉仕委員会委員長は、社会奉仕の諸活動の全部に対して責任をもち、かつ社会奉仕の各特定分野について設置されたあらゆる委員会の仕事を監督、調整する任務をもつものとする。
- (b)社会奉仕委員会は、社会奉仕委員会の委員長と社会奉仕の特定分野を担当するすべての委員会の委員長と他の委員によって構成されるものとする。
- (c)会長は理事会の承認を受け、社会奉仕の特定分野について次の委員会を設置することができる。

人間尊重委員会

地域発展委員会

環境保全委員会

協同奉仕委員会

第5節 国際奉仕委員会

- (a)国際奉仕委員会委員長は、国際奉仕の諸活動の全部に対して責任をもち、かつ国際奉仕の各特定分野について設置されたあらゆる委員会の仕事を監督、調整する任務をもつものとする。
- (b)国際奉仕委員会は、国際奉仕委員会の委員長と国際奉仕の特定分野を担当するすべての委員会の委員長と他の委員によって構成されるものとする。
- (c)会長は理事会の承認を受け、国際奉仕の特定分野について次の委員会を設置

することができる。

世界社会奉仕委員会

ロータリー財団委員会

米山奨学委員会

第6節 新世代奉仕委員会

- (a)新世代奉仕委員会委員長は、新世代奉仕の諸活動の全部に対して責任をもち、かつ新世代奉仕の各特定分野について設置されたあらゆる委員会の仕事を監督、調整する任務をもつものとする。
- (b)新世代奉仕委員会は、新世代奉仕委員会の委員長と新世代奉仕の特定分野を担当するすべての委員会の委員長によって構成されるものとする。
- (c)会長は理事会の承認を受け、新世代奉仕の特定分野について次の委員会を設置することができる。

青少年交換委員会

ローターアクト委員会

インターアクト委員会

第8条 委員会の任務

第1節 クラブ奉仕委員会

この委員会は、本クラブの会員が、クラブ奉仕に関する事柄においてその諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。クラブ奉仕委員会委員長は委員会の定例会合に責任をもち、クラブ奉仕の全活動について理事会に報告するものとする。

- (a)出席委員会。この委員会は、すべてのクラブ会員があらゆるロータリーの会合に出席すること——これには、地区大会、都市連合会、地域大会および国際大会への出席も含まれる——を奨励する方法を考案するものとする。この委員会は特に本クラブの例会への出席と、本クラブの例会に出席できない場合の他クラブ例会への出席とを奨励し、全会員に出席規定を周知せしめ、出席を良くするためのよりよき奨励策を講じ、そして出席不良の原因となる諸事情を確かめてこれを除去することに努めるものとする。
- (b)クラブ会報委員会。この委員会は、クラブ週報の刊行によって、関心を促して出席の向上を図り、近づく例会のプログラムを発表し、前回の例会の重要事項を報告し、親睦を増進し、全会員のロータリー教育に寄与し、クラブ、会員、および世界各地のロータリー・プログラムに関するニュースを伝えるべく努めなければならない。

- (c)親睦活動委員会。この委員会は、会員間の知り合いと友誼を増進し、用意されたロータリーのレクリエーションおよび社交的諸活動への参加を会員に奨励し、本クラブの一般目的の遂行上会長または理事会が課する任務を果たすものとする。
- (d)雑誌委員会。この委員会は、ロータリアン誌に対する読者の関心を喚起し、雑誌月間を主催し、クラブの例会プログラムにおいて毎月雑誌の簡単な紹介を手配し、新会員の教化に雑誌を利用することを奨励し、ロータリアンでない講演者に雑誌を贈呈し、図書館、病院、学校、その他の図書閲覧室のために国際奉仕ならびにその他の特別購読を取り計らい、ニュース資料と写真を雑誌編集者に送り、その他あらゆる方法によって雑誌を本クラブ会員およびロータリアン以外の人々に役立てるものとする。
- (e)プログラム委員会。この委員会は、本クラブの例会および臨時の会合のためのプログラムを準備し、手配しなければならない。
- (f)広報委員会。この委員会は、(1) 広く一般世間に、ロータリー、その歴史、綱領および規模に関する情報を提供し、そして(2) 本クラブのために適切な宣伝を行う方策を考案しこれを実施するものとする。
- (g)スマイルボックス委員会。この委員会は、会員の慶事、記念すべき事項およびその他の事項を紹介し、奉仕のための寄付行為を奨励するものとする。
- (h)会員選考委員会。この委員会は、会員に推薦されたすべての者を個人的な面から検討して、その人格、職業上および社会的地位ならびに一般的な適格性を徹底的に調査しなければならない。そしてすべての申し込みに対する委員会の決定を理事会に報告しなければならない。
- (i)会員増強委員会。この委員会は、絶えず本クラブの充填未充填職業分類表を検討し、未充填の職業分類を充填するために適当な人物の氏名を理事会に推薦するよう積極的に努めなければならない。
- (j)職業分類委員会。この委員会は、毎年できるだけ早く、遅くとも8月31日以前にその地域社会の職業分類調査を行わなければならない。その調査から、職業分類の原則を適用し、充填未充填職業分類表を作成しなければならない。必要な場合は本クラブの現会員のもっている職業分類を再検討しなければならない。そして、あらゆる職業分類の問題について理事会と協議しなければならない。
- (k)ロータリー情報委員会。この委員会は、会員候補者にロータリー・クラブ会員の特典と責務に関する情報を提供し、会員にあらゆるレベルのロータリーの歴史、綱領、活動に関する情報を提供し、入会してから最初の1年間新会

員のオリエンテーションを監督するものとする。

第2節 職業奉仕委員会

この委員会は、本クラブの会員が、その職業関係における諸責務を遂行し、各会員それぞれの職業における慣行の一般水準を引き上げるうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。

- (a)職業情報委員会。この委員会は、さまざまな職業に対する会員の知識と理解を深めるプロジェクトやプログラムを開発すること。
- (b)職業指導委員会。この委員会は、地域社会や職場で「職業宣言」に対する会員の理解を深め、高度の道徳的水準の実施と推進を奨励すること。
- (c)就職相談委員会。この委員会は新世代の職業選択を援助するため、会員の経験を活かすプロジェクトを開発すること。

第3節 社会奉仕委員会

この委員会は、本クラブの会員が、その地域社会に対する諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。

- (a)人間尊重委員会。この委員会は、援助を必要とする人々に力を貸し、支援することによって、すべての人が生涯にわたり幸福に暮らせるように心を配るものとする。
- (b)地域発展委員会。この委員会は、地域とその諸施設の現状を改善することによって住みやすい場所を築くよう心を配るものとする。
- (c)環境保全委員会。この委員会は、地域の環境の質を調査、改善するよう心を配るものとする。
- (d)協同奉仕委員会。この委員会は、地域内のロータリー提唱の団体との関係を強化し、その奉仕活動に協力することに心を配るものとする。

第4節 国際奉仕委員会

この委員会は、本クラブの会員が、国際奉仕に関する事柄においてその諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。

- (a)世界社会奉仕委員会。この委員会は、国際理解と親善を推進するために、世界の人々の生活を改善し、ニーズに応える物質的、技術的、専門的援助プロジェクトを奨励するような方策を考案しこれを実施するものとする。
- (b)ロータリー財団委員会。この委員会は、会員にロータリー財団に対する理解を深め、支援を促進せしめ、その計画に協力することを奨励するような方策を考案しこれを実施するものとする。

- (c)米山奨学委員会。この委員会は、会員に米山記念奨学会に対する理解を深め、支援を促進せしめ、その計画に協力することを奨励するような方策を考案しこれを実施するものとする。

第5節 新世代奉仕委員会

この委員会は、本クラブの会員が、新世代に対する諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。

- (a)青少年交換委員会。この委員会は、青少年が世界平和推進のための国際理解と親善という目的を達成することができるように協力すること。
- (b)ローターアクト委員会。この委員会は、青少年の成長を助ける知識や技術を高めさせ、友情と奉仕を通して世界中の人々の間の親善を推進するための機会を提供する活動に協力すること。
- (c)インターアクト委員会。この委員会は、青少年に奉仕と国際理解に貢献する世界友好精神の中で共に活動する機会を与えるために協力すること。

第9条 出席義務規定の免除

理事会に対して書面をもって、正当かつ十分な理由を具して申請することによって、会員は出席義務規定の免除が与えられ、一定期間を限り本クラブの例会出席を免除される。

第10条 財務

第1節 資金の預金

会計は本クラブの資金をすべて理事会によって指定される銀行に預金しなければならない。

第2節 支払方法および会計監査

すべての勘定書は役員2名の署名する伝票に基づき支払われるものとする。本クラブのすべての会計事務については毎年1回全面的な監査が行われなければならない。

第3節 資金の安全保管義務

資金を預りあるいはこれを取り扱う役員は、本クラブの資金の安全保管に務めなければならない。

第4節 会計年度

本クラブの会計年度は7月1日より6月30日に至る期間とし、会費徴収の目的のために、これを7月1日より12月31日に至る期間および1月1日より6月30日に至る期間の二半期に分けるものとする。R Iに対する人頭分担金と雑誌

購読料の支払は、毎年7月1日および1月1日に、それぞれ当日の本クラブ会員数に基づいて行われるものとする。

第5節 予算作成および支出

各会計年度の初めに理事会はその年度の収支の予算を作成し、または作成せしめなければならない。その予算は、理事会によって承認された後、各費目ごとに支出の限度となるものとする。但し、理事会の議決によって別段の指示がなされた場合はこの限りでない。

第11条 会員選挙の方法（すべての会員身分について）

第1節 推薦方法

本クラブの正会員によって推薦された会員候補者の氏名は、書面をもって、本クラブ幹事を通じ、理事会に提出されるものとする。この推薦は、本条に別な定めのある場合を除き、事前に漏らしてはならない。

第2節 理事会の確認

理事会は、その被推薦者がクラブ定款の職業分類と会員資格の条件をすべて満たしていることを確認するものとする。

第3節 理事会の審議

理事会は、推薦状の提出後30日以内にその承認または不承認を決定し、これをクラブ幹事を通じて、推薦者に通知しなければならない。

第4節 入会申込

理事会の決定が肯定的であった場合は、被推薦者に対し、ロータリーの目的および会員の特典と義務について説明しなければならない。この説明の後、被推薦者に対し、会員申込用紙に署名を求め、また、本人の氏名および本人に予定されている職業分類をクラブに発表することについて承諾を求めなければならない。

第5節 決定

被推薦者についての発表後7日以内に、理事会がクラブ会員（名誉会員を除く）の誰からも、推薦に対し、理由を付記した書面による異議の申し立てを受理しなかった場合は、その人は、名誉会員でないか本細則第5条1節但し書きに該当するものでないなら、本細則に定める入会金を納めることにより、会員に選ばれたものとみなされる。

理事会に対し異議の申し立てがあった場合は、理事会は、次の理事会会合において、この件について票決を行うものとする。異議の申し立てがあったにも

かわらず、入会が承認された場合は、被推薦者は、名誉会員でないか本細則第5条1節但し書きに該当するものでないなら、所定の入会金を納めることにより、クラブ会員に選ばれたものとみなされる。

第6節 新会員入会式

このような選挙後に、クラブ会長は、当該会員の入会式を行い、クラブ幹事は当該会員に対して会員証を発行し、新会員をR Iに報告しなければならない。ロータリー情報委員会は、入会式で新会員に贈呈する適切な資料を提供し、当該会員がクラブに溶け込めるよう援助することを担当する会員を1名指名するものとする。

第12条 決議

事のいかんを問わず本クラブを拘束する決議または提案は、理事会によって審議された後でなければ本クラブによって審議されてはならない。もしかかる決議または提案がクラブの会合で提起されたならば、討議に付することなく理事会に付託しなければならない。

第13条 議事の順序

開会宣言

来訪ロータリアンの紹介

来信および告示事項

委員会報告（もしあれば）

審議未終了議事

新規議事

スピーチその他のプログラム

閉会

第14条 改正

本細則は、定足数の出席する任意の例会において、出席会員の3分の2の賛成投票によって改正することができる。但し、かかる改正案の予告は当該例会の少なくとも10日前に各会員に郵送または配布されていなければならない。クラブ定款およびR Iの定款、細則と背馳するとき改正または条項追加を本細則に対して行うことはできない。

附則

本細則は、昭和53年5月9日から適用する。

本細則は、昭和54年7月1日から一部改正する。

本細則は、昭和57年7月1日から一部改正する。

本細則は、昭和63年7月1日から一部改正する。

本細則は、平成2年7月1日から一部改正する。

本細則は、平成4年7月1日から一部改正する。

本細則は、平成5年5月12日から一部改正する。

本細則は、平成10年7月1日から一部改正する。

本細則は、平成11年7月1日から一部改正する。

本細則は、平成12年5月11日から一部改正する。

本細則は、平成12年6月15日から一部改正する。

本細則は、平成14年7月1日から一部改正する。

大和中ロータリークラブ内規

当クラブの運営を円滑にするため本内規を設ける。

第1項 役員、理事および会計監査の選挙

- (1)大和中ロータリークラブ細則（以下細則という）第1条の役員、理事および会計監査の選挙にあたっては、会長は、毎年11月の第1例会において、役員、理事および会計監査候補者を指名する指名委員会を設置することを会員に告知し、これを招集し議長を務めるものとする。
- (2)指名委員会は選出を終えた役員、理事および会計監査候補者を、毎年11月の最終例会において公表する。
- (3)指名委員会は役員および理事候補者の選出にあたり次の事項に留意するものとする。
 - (イ) 人事の公平と負担の平等とを図るため、役員および理事の任期は継続して3年以上にわたらないよう配慮する。
 - (ロ) 始めに会長（次次年度）候補者を選出し、副幹事の選出にあたっては、会長（次次年度）候補者の意見を尊重する。
- (4)会長（次年度）は、細則第1条第2節の会場監督選出後の最初の例会において、選挙で当選した役員、理事、会計監査のそれぞれの担当役職を、会員に公表するものとする。
- (5)細則第1条第2節の会場監督の選出にあたっては、内規第1項(3)の（イ）の指名委員会の留意事項を準用するとともに、候補者には会長または幹事の経験者が望ましい。

第2項 委員会等の構成

次期理事会は、次年度の開始される3ヶ月前までに各種委員会の編成を終了させ、ソングリーダーの選出も図るものとする。

第3項 任務代行の順序

例会等クラブの運営上で担当者が欠席または不都合により任務の遂行が出来ない場合、原則として副委員長、委員の順序、または直前年度の担当者から順次さかのぼる順序で代行者を定めるものとする。

第4項 クラブ協議会の出席

本クラブにおけるクラブ協議会は、委員長のみにとどまらず原則として会員全員が出席するものとする。

第5項 新会員の所属委員会および会合出席義務

新会員の所属する委員会は理事会で決定する。新会員は各委員会が開く会合および勉強会等に積極的に出席することとする。

第6項 諮問委員会

- (1)本クラブに会長および歴代会長をもって構成する諮問委員会を置く。
- (2)諮問委員会の委員長は会長が務め、任期は1年とする。
- (3)諮問委員会は、理事会の諮問に対し答申を行うものとする。
- (4)理事会は、上記答申を尊重しなければならないが、必ずしも拘束されるものではない。

第7項 事務局の出張旅費等

事務局員がクラブ業務のために出張するときは、旅費等の実費をクラブが負担し支給する。

第8項 各種記念品または金一封

- (1)クラブの依頼したゲストスピーカーに対しては、謝礼として記念品又は金一封を車代として贈る。
 - (イ) 記念品…………… 5,000円相当
 - (ロ) 金一封……………10,000円
 - (ハ) 特別の場合は理事会で決定するものとする。
- (2)直前会長及び直前幹事となった時点において次のものを贈る。
 - (イ) 直前会長にダイヤ入りバッチ
 - (ロ) 直前幹事にルビー入りバッチ

第9項 慶弔規定

- (1)慶事の場合の祝金等は次の区分とする。
 - (イ) 会員およびその実子の結婚
クラブより…20,000円
 - (ロ) 会員実子誕生

クラブより…20,000円

(ハ) 会員の新規営業所、社屋、工場、店舗等の新築、開設

クラブより…10,000円または花環かそれに代わる記念品

(ニ) 会員の自宅新築

クラブより…10,000円またはそれに代わる記念品

(ホ) 会員が国の機関から功労表彰を受けたとき

クラブより…記念品 (5,000円相当)

(ヘ) その他理事会が必要と認めたときは適宜決定する。

(2) 弔事の場合の弔慰金等は次の区分とし、会長は速やかに F A X で、全会員に連絡するものとする。

(イ) 会員死亡の場合

クラブより花環一基、弔電および会員 1 人拠金10,000円

(ロ) 会員の配偶者死亡の場合

クラブより 花環、弔電および会員 1 人拠金 5,000円

(ハ) 会員の第一親等血族死亡の場合

クラブより 花環、弔電および会員 1 人拠金 2,000円

(ニ) 会員の同居第一親等の姻族死亡の場合

クラブより 花環、弔電および会員 1 人拠金 1,000円

(ホ) その他理事会が必要と認めたとき

クラブより 花環または弔電

(3) 傷病または被災の場合の見舞金等は次の区分とする。

(イ) 会員および配偶者が傷病により1ヶ月以上欠席または入院のとき、

クラブより…10,000円

(ロ) 火災等での被災のとき

自宅または事業所 クラブより…30,000円

(ハ) その他理事会が必要と認めたときは適宜決定する。

(4) 退会者の扱いを含め上記以外で必要と思われるときは、その都度理事会において決定する。

(5) 上記慶弔見舞金などに対する返礼は一切行わないこととする。

第10項 表彰

本クラブは、理事会が必要と認めたときは、クラブに功績のあった会員にたいして表彰することができるものとする。

第11項 出席表彰規定

(1)本クラブ入会後1年またはそれ以上の皆出席者には次のとおり表彰を行う。欠席した場合は、該当例会月を除き翌月より積算した年数によって行う。

クラブ定款第9条により出席義務規定の免除を受けていた者が、その免除の解除を申し出た場合は、免除開始の前月までの実績と免除該当期間月数を除き、翌月より積算した年数を皆出席の年数とする。

①積算した年数：欠席または免除に該当する月は計算に入れずに、前後の実績を加えた月数で年計算を行う。

②免除該当月数：所定の書式にて出席義務規定の免除を申請した月から、免除の解除を申し出た月までの期間とする。

③免除の解除：出席免除の解除申し出は所定の書式により提出する。

(2)出席表彰は次の年数毎に行う。

1年 スナップ止出席バッチ (9K)

3年 スナップ止出席バッチ (14K)

5年 金色ネクタイ止

7年 カフスボタン

10年 ダイヤ入出席バッチ

以後は5年毎とし、10,000円相当の記念品。

(3)上記記念品等については出席委員会で検討し、理事会に図り、決定する。

第12項 内規の改廃

本内規の改廃は、定足数を満たす理事会の3分の2以上の賛成のもとに改廃することができる。

昭和53年8月10日	制定
昭和57年8月12日	一部改正
昭和61年5月8日	一部改正
昭和63年11月17日	一部改正
平成2年1月1日	一部改正
平成7年2月9日	一部改正
平成8年5月23日	一部改正
平成10年7月1日	一部改正
平成12年6月15日	一部改正
平成14年7月1日	一部改正
平成15年6月12日	一部改正
平成18年1月1日	一部改正